

令和5年度 第4回 第12地区教科書採択教育委員会協議会議事録

- 1 日 時 令和5年7月19日(水) 9時57分から15時53分
- 2 場 所 十勝教育研修センター講堂
- 3 出席委員
会 長 菅野 勇次 (幕別町)
副 会 長 福地 隆 (音更町)
監 事 程野 仁 (芽室町) 加賀 学 (池田町)
委 員 土屋 仁志 (土幌町) 小堀 雄二 (上土幌町) 渡辺 雅人 (鹿追町)
渡會 崇善 (新得町) 山下 勇 (清水町) 上田 禎子 (中札内村)
細川 徹 (更別村) 沼田 拓己 (大樹町) 菅原 康博 (広尾町)
中川 直幸 (豊頃町) 水野 豊昭 (浦幌町) 高橋 哲也 (本別町)
東海林弘哉 (足寄町) 有田 勝彦 (陸別町)
- 4 代理出席 なし
- 5 欠席委員 なし
- 6 出席した調査委員
第1小委員会(国語/書写) 委員長 佐竹 宏子 副委員長 新町 洋行
第2小委員会(社会/地図) 委員長 岸 研吾 副委員長 竹本 良平
副委員長 三木 俊治
第3小委員会(算数) 代理出席 吉本 徹 副委員長 小浪 綾子
第4小委員会(理科) 委員長 河井 義徳 副委員長 荒木 成宜
第5小委員会(生活) 委員長 川原 千暢 副委員長 伊東 洋志
第6小委員会(音楽) 委員長 石丸 揚一朗 副委員長 大石 倫之
第7小委員会(図画工作) 委員長 金子 信隆 副委員長 佐々木 睦美
第8小委員会(家庭) 委員長 菅野 みゆき 副委員長 岸山 知歩
第9小委員会(保健) 委員長 坂下 亮宏 代理出席 松浦 諒
第10小委員会(英語) 委員長 稲葉 珠樹 副委員長 田村 浩文
第11小委員会(道徳) 委員長 森 浩嘉 副委員長 日根野 郁代
第12小委員会(附則第9条) 委員長 佐藤 貴光 副委員長 高橋 みゆき
- 7 出席した事務局職員
幕別町教育委員会教育部長 川瀬 吉治
" 学校教育課長 西田 建司
" 係長 酒井 貴範
- 8 オブザーバー
十勝教育局教育支援課長 瀬越 義範
義務教育指導班主任 児玉 祥洋
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 協 議

(菅野会長)

ただ今から、令和5年度第4回第12地区教科書採択教育委員会協議会を開催いたします。
議事に入ります前に、事務局から事務報告をいたします。

(事務局：川瀬教育部長)

本日の会議につきましては、全委員に出席いただいておりますので、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

また、本日は、調査委員会における調査研究結果について報告をいただくため、調査委員会の正副委員長にもご出席をいただくことになっております。さらに、十勝教育局から義務教育指導班の児玉主査にご出席をいただいております、瀬越教育支援課長はのちほど出席予定であります。

会議に入ります前に、本日配付しました資料の確認をいたします。配布資料の一覧を、議案書の表紙をめくりました下段に記載をしております。

1点目はご覧いただいております議案書、次に別紙とありますA4一枚ものの本日の日程表、次にオレンジ色のフラットファイルの「令和6年度から使用する小学校用教科用図書報告書」、最後になりますが、資料1とあります各町村での教科書展示会の意見の一覧の以上4点であります。不足があればお知らせいただきたいと思います。よろしいですか。なければ事務報告は以上であります。

(菅野会長)

本日は、各調査委員会から調査研究結果を報告いただいた後に質疑を行うこととしておりますが、採択の公正確保の観点から、規約第9条第6項の規定に基づきまして非公開といたします。

これにご異議ございませんか。

(委員一同)

異議なし。

(菅野会長)

異議なしと認め、本日の会議は非公開といたします。

(菅野会長)

それでは、報告第3号 令和6年度から使用する小学校用教科用図書及び学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の調査研究結果の報告について、調査委員会における調査研究の経過を事務局から説明をいたします。

(事務局：西田学校教育課長)

報告第3号 令和6年度から使用する小学校用教科用図書及び学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の調査研究結果の報告について、各調査委員会における調査研究の経過をご報告いたします。

第1回調査委員会は、6月28日午後2時から、十勝教育研修センターで開催し、発行者から送付された全ての見本本を配付した後、調査研究の観点や手順などについて、説明を行いました。調査委員会では、教科書編修趣意書や北海道教育委員会が作成した採択参考資料を活用し、絞り込みや順位付けをせず、全ての見本本について調査研究を行いました。

調査委員には、この日以降約2週間、調査研究の観点に基づき、調査研究を行っていただきました。

第2回調査委員会は、7月7日午前10時から、第1から12委員会を十勝教育研修センターで開催し、終日調査研究を行いました。

調査委員は、学習指導要領に基づき、教科書見本本の特色が明らかになるよう、取扱内容、内容の構成・排列・分量等、使用上の配慮等の観点に基づき、調査研究の結果を積極的に意見交換するとともに、特に話し合われた箇所や特徴的な箇所は、見本本で具体的に示していただきました。その際、1つの見本本を複数の調査委員で担当いただきました。

十分に話し合いが尽くされた後、全ての見本本について、調査研究や協議の結果を踏まえ、報告書の作成に着手いただいております。

第2回の調査委員会以降も、調査委員は協議した観点や内容などについて、見本本の調査研究を継続いただいております。

第3回調査委員会は、7月14日午前10時から、十勝教育研修センターにおいて、終日開催し、全ての見本本について、調査研究の結果を基に、報告書の作成作業を行い、本日の協議会における報告原稿の作成と報告内容箇所を確認する話し合いなどを行っていただいたところであります。

以上で説明を終わります。

(菅野会長)

本日の協議会の進め方について、お諮りいたします。

本日は、別紙の令和5年度第4回第12地区教科書採択教育委員会協議会日程表に基づき、調査委員会ごとに調査研究結果の報告と、質疑応答を行うこととし、次回の第5回協議会において教科書の種目毎に2者に絞り込むための審議を行うこととしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(委員一同)

異議なし。

(菅野会長)

異議なしと認め、本日は調査委員会委員長の報告の後、質疑を行い、次回協議会において教科書の種目毎に2者に絞り込むための審議を行うことに決定をいたしました。

それでは最初に、第1小委員会の国語・書写について、報告をいただきます。

委員長、副委員長入室まで少々お待ちください。

(菅野会長)

それでは、第1小委員会国語・書写の審議経過及び調査研究の結果について、15分程度で報告をお願いします。

(佐竹第1小委員会委員長)

皆様、おはようございます。国語の小委員会で検討を重ねました結果について、ご報告いたします。

皆様のお手元にも別紙様式2がありますので、そちらでご報告させていただきたいと思っております。

まず、調査研究の結果ですが、3回にわたる調査委員会を開き今日の目を迎えることとなりました。その調査研究の方法としては、ア「取扱内容」について、イ「内容の構成・排列・分量等」について、ウ「使用上の配慮等」について、ということで3者の教科書について検討を続けてまいりました。それぞれの出版会社の調査報告書については、別紙様式1ということでお手元のほうにわたっているかと思っておりますので、そちらをご覧くださいと思います。こちらでは総合所見ということでお話をさせていただきます。

まず初めに国語です。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については次のような学習活動が取り上げられていました。

東京書籍につきましては、第5・6学年において、物語の組み立てや山場での登場人物の気持ちの変化について考えたことを伝えあったり、分かったことを整理したり、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられていました。

教育出版につきましては、第5・6学年において、物語に使われている表現の工夫について考えながら読んだり、筆者の論の進め方についてまとめたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

光村図書につきましては、第5・6学年について、「学習」において学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料と関連付けたり、文の特徴を考えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

書写につきましては、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応ということで、以下のような学習活動が取り上げられていました。

東京書籍につきましては、「見つけよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、次の文字に向かう動きについて考えたことを話し合ったり、第6学年の「書写のかぎ」を参考にして毛筆や鉛筆で文字を書いて確かめたりするなど、第5・6学年の考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

教育出版につきましては、「めあて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、目的に合った書く速さについて話し合ったり、第5学年の「ここが大切」を参考にしてメモの取り方について確かめたりするなど、考えを広げたり深めたり活動が取り上げられていました。

光村図書につきましては、「ねらい」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文字同士のつながりが感じられる理由を話し合ったり、第6学年の「たいせつ」を参考にして点画のつながりを意識して書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

書写においてはそれぞれの言葉が違いますが、同じように学習課題を設定し、見通しをもって書く動作等に着眼した活動ができるような学習活動が取り上げられているということがわかりました。

4番目、「その他」です。

国語では、児童の学習意欲を高める活動として、以下のような学習活動が取り上げられていました。

東京書籍につきましては、伝えたいことが相手に伝わるように、第4学年の、工夫して話す活動や、第6学年の相手や目的に応じて情報を集めパンフレットを作る活動を通して相手意識や目的意識を明確にするとともに、読書に親しむ習慣や態度を育むための読書単元「本は友達」を掲載しています。

教育出版につきましては、第1学年では、人の話を聞いて初めて知ったことを友達に伝える活動や、第4学年では、写真や図表を効果的に使い読む人の興味を引く図鑑を作る活動を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、多彩なテーマの図書を紹介した「読書の広場」を掲載するなどしています。

光村図書につきましては、第1学年では夏休みの出来事を友達に知らせる活動や、第4学年の知らせたいことが読む人に伝わるよう工夫して新聞を作る活動を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、図書館の活用方法や多様なジャンルの読み物を紹介した「本は友達」を掲載するなどしています。

国語の中では、どの出版会社も相手意識を明確にして目的意識を持って活動に取り組むことができるような活動というものが、どの会社の教科書にも見られました。同じく読書単元ということで本の紹介にとどまらず、読書をしていくきっかけとなる活動などを含めた広い意味での読書体験につながるような学習活動が取り上げられていました。

書写に行きます。

児童の学習意欲を高める活動として、次のような学習活動が取り上げられております。

東京書籍につきましては、第3・5学年において、リーフレットや実験記録の書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり、第1学年において、もののかたちからできた漢字のはなしを掲載したりするなどしています。

当該学年の学びを他教科や学校生活に生かす単元「生活に広げよう」を掲載、様々な観点から文字文化に触れるコラム「文字といっしょに」を掲載するなどしております。

教育出版につきましては、俳句や話し合いメモの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載したり、視写の教材として国語で学習した文学教材を掲載したりするなどしています。

また、身に付けた書写の力を学習活動に生かす題材「レッツトライ」を掲載するなどしていたり、多様な文字文化への関心を高める「知りたい文字の世界」を掲載したりするなどしています。

光村図書につきましては、第3・4学年において、手紙や横書きの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材を掲載するなどしております。第1学年において、日常とのつながりが実感できる教材を掲載するなどしております。

関連的指導を意識した教材「書写を広げたい」を掲載、書写で学んだことを生かして日常の言葉や物語、短歌、俳句を書いて味わう「ことば」を掲載するなどしております。

以上が、国語・書写についての調査結果の報告となります。

(菅野会長)

ありがとうございました。

ただいま国語・書写についての報告をいただきました。ここでご質問をお受けしたいと思えます。何かございませんか。

小堀委員。

(小堀委員)

国語科では、日常生活について生きて働く国語の能力を身に付けさせるため、どのような言語活動が取り上げられているのか、お聞きしたいと思います。

(新町第1小委員会副委員長)

それでは、お答えしたいと思います。

まず東京書籍につきましては、話すことの領域の中で5年生の単元でインタビューを行う活動を取り上げられています。書くことの領域では、3年生の単元で行事の手紙を書く活動、4年生の単元で礼状を書く活動が取り上げられて日常生活の中に生かされるようになっています。

続いて教育出版につきましては、話すことの領域の中で、5年生の単元で同じくインタビューを行う活動が取り上げられています。また、書くことの領域では3年生の単元で礼状を書く活動、4年生の単元で手紙や電子メールを書く活動が取り上げられて日常生活の中に生かされるようになっています。

光村図書につきましては、話すことの領域の中で、5年生の単元で同じくインタビューを行う活動が取り上げられています。また、書くことの領域では、3年生の単元で行事の案内を書く活動、4年生の単元では礼状を書く活動が取り上げられ日常生活に生かされるようになっています。

(菅野会長)

ありがとうございます。

他に質問はございませんか。

渡辺委員。

(渡辺委員)

我が国の言語文化に親しみ理解できるようになることが求められていますが、古典に親しむために伝統的な言語文化に関する事項の特色として、どのような内容を取り上げ工夫されているのか伺います。

(新町第1小委員会副委員長)

それでは、お答えをいたします。

東京書籍につきましては、5・6年生で「竹取物語」などの古文を音読し、言葉のひびきを楽しむ活動など古典作品を通して日本語の美しさや豊かさを学ぶ内容になっています。全学年では伝統文化についての事項が34件取り上げられています。

教育出版につきましては、5・6年生で「枕草子」などの古典を音読し、昔の人のものもの見方や感じ方を知る活動が取り上げられています。古典などの伝統芸能の魅力に触れ我が国

の伝統と文化に親しむ内容となっています。全学年で伝統文化につきまして20件取り上げられています。

続いて光村図書につきましては、5・6年生の教材で「竹取物語」「平家物語」などの古文の様子を想像しながら音読する活動が取り上げられています。古典の世界を通して語彙を拡充したり古典に対する知識を身に着けたりするとともに、伝統と文化を尊重する内容となっています。全学年で伝統文化につきまして27件取り上げられています。

(菅野会長)

他に国語に関してございませんか。
東海林委員。

(東海林委員)

書写についていいですか。

(菅野会長)

それでは書写もあわせて行いたいと思います。
東海林委員。

(東海林委員)

私から書写に関連して、ひとつ教えてください。

毛筆学習は3年生以上で年間30時間程度となっていますが、書写で習得する知識、技能として、硬筆学習と毛筆学習の関連について、どのように配慮されているか教えてください。

(新町第1小委員会副委員長)

それでは、お答えいたします。

まず、東京書籍につきましては、硬筆の中から課題を見出し、毛筆で学びを確実にできるような配慮がされています。例えば、字の組み立てや点画のつながりなどについて複数の言葉を硬筆で練習することができるようになっています。

それから、教育出版につきましては、硬筆と毛筆における自らの成長に気付くことができるような配慮がされています。例えば、授業のはじめに「ためし書き」で硬筆における自分の課題に気づき、授業の終わりの「まとめ書き」と比べることができるようになっています。

光村図書につきましては、いろいろな文字に応用できる「書く力」を育むことができるような配慮がされています。例えば、教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を教材内に設け、毛筆で学習したことが硬筆に生かすことができるようになっています。

(菅野会長)

他にございませんか。
水野委員。

(水野委員)

国語科における家庭学習の充実に向けては、読書習慣の定着が有効であると思いますが、読書活動に関わっては、どのような工夫がなされているか伺います。

(新町第1小委員会副委員長)

それでは、ご説明いたします。

各社とも読書活動が深まるよう、次のような工夫がされていることがわかりました。

まず、東京書籍ですが、本を手にして読む機会を大切に考え、学年に応じた回数で読書単元「本は友だち」を、年間を通して設定しています。本を読む楽しさを友達と分かち合う協働的な活動や豊富な図書紹介で、読書に親しむ習慣と態度を育む工夫がされています。

教育出版につきましては、読む楽しさを味わうことのできる作品を選定し、自分自身について考えたり、生き方を学んだりすることができる作品を各学年に取り入れ、「想像を広げる系列」「平和を考える系列」など系列化を図り、読書活動が広がる工夫がされています。

光村図書につきましては、読書に親しむ習慣や態度を育む単元「本は友だち」を発達段階に応じて年間を通して設定し、読みたい本、必要な本を見つけ、読書によって知識を得たり生活を豊かにしたりしようとする意欲を引き出す工夫がされています。

(菅野会長)

他にございませんか。

上田委員。

(上田委員)

学習の基盤となる能力のうち、言語能力の育成について、各教科書が工夫していることはどのような点かお聞きしたいと思います。

(新町第1小委員会副委員長)

それでは、お答えいたします。

東京書籍につきましては、全学年を通して、「言葉」の練習問題、「言葉の広場」や「学習で使う言葉」の一覧、学年に応じたキーボードの入力練習などのコンテンツを活用できるように工夫されています。

それから、教育出版につきましては、全学年を通して、日常の言語生活から題材を取り上げることで、児童が活動の中で、言語的な知識を深め、その後の言語生活に還元できるような工夫がされています。

光村図書につきましては、全学年を通して、児童が学ぶ「伝え合うための言葉」や「学習に用いる言葉」などが巻末にまとめて記載されておりますので、多くの言葉を獲得、活用できるように工夫されています。

(菅野会長)

他にございませんか。

菅原委員。

(菅原委員)

書写について質問いたします。書写で習得した知識や能力を、日常の生活や学習活動に活かすことができるようにするため、どのような工夫がされているのか伺います。

(新町第1小委員会副委員長)

それでは、お答えいたします。

まず、東京書籍につきましては、「生活に広げよう」において、委員会活動や総合的な学習の時間のリーフレットづくりなど、他教科や学校生活での生かし方を豊富に示す工夫がされています。

それから教育出版につきましては、「レッツトライ」「書いて伝え合おう」の教材の中で、総合的な学習の時間のポスターづくりなど、習得した書写力を他教科や日常生活に活動できるような工夫がされています。

続いて光村図書につきましては、「書写を広げたい」の単元において、英語との関連教材を設けるなど、教科横断的な学習を充実させることができるような工夫がされています。

(菅野会長)

それでは、他にございませんか。

渡會委員。

(渡會委員)

私のほうからは、書写についてお伺いしたいと思います。

3者を比較して、国語科との関連はどのように扱われているのか特徴的な部分を教えてくださいたいと思います。

(新町第1小委員会副委員長)

それでは、お答えいたします。

まず、東京書籍につきましては、ノートやカードの書き方など、国語と連動させた言語活動を取り上げています。生活に活用できる書写力を育成できるように取り扱われています。

続いて、教育出版につきましては、硬筆教材について国語で学習した文学教材などから設定し関連を図るとともに、言語としての響きや豊かさを考慮するよう取り扱われています。

光村図書につきましては、各学年に国語との関連教材を設け、言語活動、話すこと、聞くこと、書くことを通して、日常生活に生きて働く書写の知識・技能を習得できるように取り扱われています。

(菅野会長)

他にございませんか。

ないようですので、以上で国語・書写についての報告を終了させていただきます。

佐竹委員長、新町副委員長、ありがとうございました。

それでは次に、第2小委員会の社会・地図について、ご報告をいただきます。

(岸第2小委員会委員長)

社会科小委員会の委員長を務めさせていただきます上美生小学校校長の岸といたします。よろしく願いいたします。副委員長の竹本教頭と、同じく副委員長の三木教頭です。

それでは、私のほうからご報告をさせていただきます。

まず社会科の教科書及び地図についてご報告をいたします。別紙様式2等を参照してお聞きいただければ幸いです。

調査研究の経過及び調査研究の方法は、報告書に記載の通り3者の教科書及び2者の地図について3回行いました。各発行者の教科書及び地図見本本を調査した結果を説明いたします。

まず、教科書見本本の調査結果から説明いたします。各者とも取扱内容では第4学年「県を中心とする地域社会」に関する内容、第6学年「我が国の政治と歴史、国際理解」に関する内容、第3学年「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」について、内容の構成・排列・分量等では第5学年を取り上げ、系統的・発展的に学習できるような工夫がされているかについて、使用上の配慮等では児童が学習意欲を高める工夫、主体的に学習に取り組む工夫、使用上の便宜について、そしてその他では学習者用デジタル教科書の発行予定についての確認をすることを調査いたしました。

次に、地図見本本調査について説明いたします。各者とも取扱内容では、地図の使い方、「日本の全図」「日本の地方図」「世界の地図」「資料・統計」における学習活動についてと、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、内容の構成・排列・分量等では、資料図を基に課題探求できる工夫について、使用上の配慮等では児童が学習意欲を高める工夫、主体的に学習に取り組む工夫、使用上の便宜について、そしてその他では学習者用デジタル教科書の発行予定について確認するなど、調査をいたしました。

別紙様式2に掲載しています見本本の総合所見について若干触れさせてください。まず、教科書見本本について、ここでは6学年と3学年を各者とも取り上げました。

順番に東京書籍「新編 新しい社会」です。我が国の政治と歴史、国際理解に関する内容、第6学年については、選挙の仕組みや税金の働きから我が国の政治の働きについて調べたり、学習したことと結び付けて日本の世界文化遺産や日本遺産などについて調べたりする活動を

通して、目標を達成することができるよう工夫がされています。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習へ対応するため、市の様子の移り変わりの学習、第3学年において、学習問題を設定し、見通しをもたせるとともに、市の交通網の発達について調べたり、市の土地利用や暮らしの変化について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。

次に、教育出版「小学社会」についてです。第6学年の、我が国の政治と歴史、国際理解に関する内容については、地域の子育て支援の取組やその制度の成立過程から我が国の政治の働きについて調べたり、明治政府による条約改正が達成されるまでの出来事などについて調べたりする活動を通して、目標を達成することができるよう工夫がなされています。第3学年では、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習へ対応するため、市の様子の移り変わりの学習において、学習問題を設定し、見通しをもたせるとともに、市の交通網の発達について調べたり、市の土地利用や暮らしの変化について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。

続きまして、日本文教出版「小学社会」について、第6学年の我が国の政治と歴史、国際理解に関する内容については、待機児童の問題への取組や税金の働きから我が国の政治の働きについて調べたり、第一次世界大戦後の日本の様子や政策などについて調べたりする活動を通して目標を達成することができるよう工夫がなされています。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習へ対応するため、第3学年の市の様子の移り変わりの学習において、学習問題を設定し、見通しをもたせるとともに、市の交通網の発達について調べたり、市の土地利用や暮らしの変化について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。

続きまして地図についてです。2者ございます。

東京書籍「新編 新しい地図帳」についてです。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応するため、日本列島全体の災害地図を掲載し、災害の起きる要因や防災対策について考察したり、日本と世界の歴史地図を掲載し、同時代の世界の様子を参照しながら学びを深めたりするよう工夫がされています。内容の構成・排列については、「日本の各地の気温と降水量」や「地域による農業生産のちがひ」など、各種の基礎的な資料を掲載し、基礎的かつ基本的な知識・技能を活用して課題を追究できるような工夫がされています。使用上の配慮等については、キャラクターが地図の基本を解説したり、「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」を設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされています。

最後になります。帝国書院「楽しく学ぶ小学生の地図帳」についてです。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、防災マップの具体的な作り方を掲載し、自らの身を守るために何ができるかを考えたり、比較・関連させて考察できる資料を掲載し、社会的な見方・考え方を働かせたりするような学習活動が取り上げられています。内容の構成・排列については、江戸時代の結びつきや日本の世界遺産など、歴史の学習で活用できるテーマ地図や資料図を掲載し、歴史事象を地理的な空間の広がり結び付けることで深い学びを実現できるような工夫がされています。使用上の配慮等については、「トライ!」「地図マスターへの道」を設けたり、巻末に「地図マスターへの道」のまとめを掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされています。

以上のようなことを9人の委員で検討した結論としては、どの発行者の教科書も、教育基本法の平和的・私的な国家及び社会の形成者として必要な資質の育成という教育の目的や、学習指導要領に準じ小学校社会科の目標を達成するという明確な編集基本方針を基に主体的・対話的で深い学びの視点を持ち、質の高い教材を掲載し、創意工夫を凝らした体系的・系統的な内容と構成を工夫した教科書となっております。

さらに、児童に身近な社会的事象や現代的な課題、グローバル化する国際社会、少子高齢化、情報化等を取り上げ、公民としての資質・能力の基礎ができるようになっております。

最後になりますが、各教科書の特徴を3点のようにまとめました。1つ、どの教科書・地図においても教育基本法の教育の目的や、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童の発達段階や指導のねらいに即した教材を適切に選択しています。

2つ目、全ての教師が、教科書及び地図を用いて授業できるよう構成が創意工夫されています。

3点目です。教材はもちろんですが、一人一台端末を活用した二次元コードの掲載等も児童が興味関心をもって学習することができるように配慮がされています。

以上、当委員会からの報告及び説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。

(菅野会長)

ただいま報告をいただきましたけれども、ここでご質問をお受けしたいと思います。

まず初めに、社会からお願いします。社会に関してご質問ございませんか。

加賀委員。

(加賀委員)

このところの様々な災害や事件・事故等を踏まえ、生きる力を育む防災教育や安全教育の充実が求められていますが、このことについては、どのように取り扱われているかお伺いします。

(岸第2小委員会委員長)

ご説明いたします。若干教科書や資料等が小さいのですが掲示しながら説明させていただきます。1者ごとに説明させていただきます。

まず、東京書籍からです。4学年教科書72ページ「自然災害から暮らしを守る」において、過去に発生した様々な災害を写真や地図などを織り交ぜて取り上げ、風水害から人々を守る設備や取り組みを調べる学習を取り入れています。また、学習の発展として自助の取り組みに拡充する設定をしています。

次に、教育出版です。4学年の教科書80ページ「自然災害にそなえるまちづくり」において、地震や津波について取り上げ、家庭や学校のそなえを調べる活動や市の取り組みを調べる活動を取り扱っています。また水害、雪害、火山の噴火について選択学習となっています。

日本文教出版です。4学年教科書80ページ「自然災害から人々を守る活動」においては、風水害、台風19号を取り上げ、風水害を防ぐための施設や取り組みについて調べる活動を取り入れています。また、学習したことを生かし、自分たちの安全を守るためにできることを考え、発表したり相手の意見を聞いたりする「深め合い活動」を設定しています。

(菅野会長)

他にございませんか。

高橋委員。

(高橋委員)

学習指導要領や北海道教育推進計画等においては、アイヌの人たちの歴史や文化に関する教育の充実が求められています。このことについてどのように取り扱われているかお伺いいたします。

(岸第2小委員会委員長)

ご説明させていただきます。

まず、東京書籍です。5学年上の62ページ「わたしたちの国土」中、「寒い土地の暮らし」の中で、アイヌの人々を北海道の先住民族と明記し、アイヌの人々の暮らしや生活などについて取り扱い、「先住民族であるアイヌの人々の文化を大切にすることが求められている」とも記載されています。

教育出版です。5 学年58・59ページ「自然条件と人々の暮らし」において「寒い地域を調べる」活動の発展として「もっと知りたい」のページでアイヌの人々の豊かな自然と共存する生活様式や伝統的な楽器や踊りなどの文化について取り扱っています。

日本文教出版については、6 学年266ページにおいて、アイヌ文化振興法や国際連合の会議に出席したアイヌ民族の代表、ウポポイを取り上げ、アイヌの文化や生活を大切に守ろうという動きの高まりについて知り、未来に向けて期待される役割について考える学習を設定しています。

(菅野会長)

他にございませんか。

土屋委員。

(土屋委員)

北方領土や竹島、尖閣諸島について、我が国の固有の領土であることに触れることになっていますが、その取扱いについてはどのような工夫が見られるかお伺いいたします。

(岸第2小委員会委員長)

説明させていただきます。

まず、東京書籍からです。5 学年上14ページ「わたしたちの国土」の中で、領土をめぐる問題において、北方領土や竹島、尖閣諸島が日本固有の領土と位置付け、日本と領土問題を抱える諸外国に対する日本政府の対応についても取り扱っています。

教育出版についてです。5 学年16・17ページ「世界の中の日本の国土」において、北方領土、竹島、尖閣諸島について日本の領土であることを相手国や国際社会に伝え、平和的な解決に向けて努力を続けていく必要があると記載しています。また地図、写真を使い、わかりやすく取り上げています。

日本文教出版です。5 学年18ページにおいて、領土をめぐる問題を取り扱っています。択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島がロシアに占拠された経緯について触れ、日本政府の働きかけについて取り上げています。北方領土、竹島、尖閣諸島の現状と日本政府の主張、地図を掲載しています。

(菅野会長)

他にございませんか。

山下委員。

(山下委員)

先ほどの説明にもありましたが、学習指導要領のキーワードである主体的・対話的で深い学びについては、各者の配慮されていることについて、もう少しご説明をいただきたいのですが、よろしくお伺いいたします。

(岸第2小委員会委員長)

まず、東京書籍からです。3 学年の24ページにおいて、学習の進め方を提示し、「つかむ」「調べる」「まとめる」を学習の流れに位置付けております。学習問題を設定することにより、興味関心をもって主体的に学習に取り組めるように配慮されています。また「調べる」ではグループでの活動も設定し、対話的な学びの拡充も図っています。

教育出版についてです。3 学年6・7ページ「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」を学習の流れに位置づけ、学習問題を設定することにより、興味関心をもって主体的に学習に取り組めるよう、配慮されています。また、「つなげる」では、自分事として捉える工夫がされています。

日本文教出版です。3 学年 2 ページ「社会科の学習の進め方」にあるように、全学年で「問題を発見する、学習問題の設定」、「問題を追及・解決する」、「問題を掘り下げ、よりよい未来をつくる力を身に付ける」を学習の流れに位置付け、主体的・対話的で深い学びが行えるよう工夫がされています。

(菅野会長)

他にございませんか。

沼田委員。

(沼田委員)

世界の中の日本の役割など、国際理解やグローバル化に関する内容については、どのように取り扱われていますか。

(岸第 2 小委員会委員長)

説明させていただきます。

まず、東京書籍です。6 学年「政治・国際編」60 ページ「世界の中の日本」において、アメリカ、中国、フランス、ブラジルを具体的に取り上げ、文化・風土・産業などについて調べる学習を通して、我が国との関係について調べる学習活動が取り上げられています。また、世界の様々な課題を解決するために日本はどのように世界と協力しているのか、国際連合、持続可能な社会、国際協力について調べる学習活動を取り入れています。

続いて教育出版です。6 学年 240 ページ・272 から 279 ページ「世界の中の日本」において、日本とつながりの深い国々、アメリカ、中国、ブラジル、サウジアラビアについて調べるとともに、世界で活躍する日本人、ユニセフのはたらき、国際連合のはたらきについて取り扱っています。

日本文教出版です。6 学年 232 ページ「世界のなかの日本とわたしたち」では、日本とつながりの深い国々として、アメリカ、中国、ブラジル、韓国を取り上げ、SDGs と関連付けながら経済や歴史のつながりや地理的な特色、子供たちの様子について、調べたり、紛争や環境問題、国際連合のはたらきについて考えたりする活動が取り扱われています。

(菅野会長)

ありがとうございます。それでは地図に移りたいと思います。

地図に関して何かご質問はございませんか。

中川委員。

(中川委員)

地図から習得できる「地理的な見方・考え方」については、どのような配慮がなされているのかお伺いしたいと思います。

(岸第 2 小委員会委員長)

各者共に、日本を中心とした世界地図を掲載することで、世界と日本との位置関係を捉えることができる工夫がされています。また、各者共に、日本の産業の様子について掲載し、日本の国土の特徴について位置や分布などから考えることができる工夫がされています。

以上、両者ともということで共通のことを述べさせていただきました。

(菅野会長)

他にございませんか。

程野委員。

(程野委員)

地図を活用して自ら調べ、考え、表現するなど、社会科の理解を深めるため、どのような配慮がなされているか、もう少し具体的にお聞かせ願います。

(岸第2小委員会委員長)

東京書籍において、二次元コードからアクセスできるQRコンテンツを多数収録し、地形が分かるドローン動画などを活用できるようにし、学習を深められるようにしています。

続いて、帝国書院です。同じく二次元コードを掲載し、アニメーションによる解説やVR画像などを活用できるようにし、学習を深められるようにしています。

(菅野会長)

地図に関して、他にございませんか。

福地委員。

(福地委員)

北方領土や竹島、尖閣諸島については、何か特徴的な取り扱いがされているのかお伺いをいたします。

(岸第2小委員会委員長)

まず、東京書籍からです。16ページに択捉島の散布山の写真が掲載されており、「北方領土は第二次世界大戦後にソビエト連邦が占拠し、現在もロシアが不法に占拠を続けており、日本は一貫して返還を求めています。」という文言が掲載されています。また19ページにおいて尖閣諸島の写真が掲載されており、「魚釣島 後ろに見える島などからなる、日本固有の領土です。」という文言が掲載されています。また25ページに竹島の写真が掲載されており、「日本の固有の領土ですが、韓国に不法に占拠され、日本は抗議を行っています。」という文言が掲載されています。

続いて帝国書院です。32ページにおいて「④日本固有の領土」という欄があり、北方領土の国後島、竹島、尖閣諸島の写真が掲載されています。また、それぞれ以下のような文言が掲載されています。「北方領土は日本固有の領土ですが、ロシアが不法に占拠しています。」

「島根半島の沖に位置する日本固有の領土ですが、韓国が不法に占拠しています。」「日本固有の領土です。一番奥に見えるのが諸島の中で最も大きな魚釣島です。」という記載がされています。

(菅野会長)

それではこのへんで、第2小委員会、社会・地図についての報告を終了させていただきたいと思えます。岸委員長、竹本副委員長、三木副委員長、ありがとうございました。

次に第3小委員会、算数について報告をいただきます。

(吉本第3小委員会委員長代理)

第3小委員会委員長の佐々木につきましては、本日、新型コロナウイルス感染症に罹患しているため、代理者の吉本と申します。よろしく願いいたします。

(小浪第3小委員会副委員長)

副委員長の小浪です。よろしく願いいたします。

(吉本第3小委員会委員長代理)

それでは第3小委員会の調査結果について報告させていただきます。別紙様式2の報告書について報告させていただきます。

調査研究の経過につきましては、報告書に記載の通り3回の調査委員会を開き、調査研究を進めてきました。

調査研究の方法ですが、第3小委員会では各者が作成している教科書編修趣意書ならびに北海道教育委員会が作成する採択参考資料を参考として、実際の6者の教科書見本本をそれぞれ、ア・イ・ウの観点で調査を進めました。

取扱内容については、数と計算、変化と関係、図形、主体的・対話的で深い学びの4点について取り上げて調査を行っております。

また、内容の構成・排列・分量等のうち、内容の構成・排列では特徴的な2つの学年を取り上げました。

使用上の配慮では北海道教育委員会の資料を基に、各者2点ほど取り上げて調査しております。

その他については、北海道と関わりのある箇所、それからデジタル教科書についての調査を行いました。

それでは、報告書3の見本本の総合所見について述べさせていただきます。取扱内容の4点のうち、主体的・対話的で深い学びと使用上の配慮についての特色のあるものについて総合所見としてまとめさせていただきます。

最初に、東京書籍「新編新しい算数」です。主体的・対話的で深い学びでは、第4学年で、生活を見直すために班で別れて課題を設定し、見通しをもたせるとともに、現状を数値で把握し、より詳しく調べるためにグラフや表を活用して気付いたことを話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

また、使用上の配慮では、全学年で「つないでいこう算数の目」や「算数マイノートを学習に生かそう」で、次に学習してみたいことを想起する子どもの姿を例示したり、2年から6学年にある「ますりん通信」で、算数の学習に関する多方面からの話題や見方・考え方などを取り上げたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされているのが特徴です。

続いて、大日本図書の「新版たのしい算数」です。主体的・対話的で深い学びでは、第4学年で10の位が割り切れない割り算の計算方法、 $72 \div 3$ を、班に分かれて多様な解決方法を比較検討しながら話し合い、まとめるなどして、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

また、使用上の配慮では、全学年の単元の導入コーナーで、児童自身が問題や疑問を見出す題材を扱ったり、3から6学年の「ふくろう先生のなるほど算数教室」で、算数が社会で生かされていることを実感できるように、算数を生かして仕事をされている方へのインタビューを掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされています。

次に、学校図書の「みんなと学ぶ 小学校 算数」です。「主体的・対話的で深い学び」では、第4学年で折れ線グラフの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、棒グラフとの違いを考えたり、折れ線グラフの良さについて話し合ったりするなどして、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられています。

使用上の配慮では、全学年で見方・考え方を「考え方モンスター」としてキャラクター化し、児童が使いたくなるようにしたり、「算数をつかって」で、問題解決の仕方を活用してSDGsに関わる課題に取り組むことができたりと、児童が学びを深められるような工夫がなされています。

次に教育出版の「小学算数」です。主体的・対話的で深い学びでは、第4学年の平面図形の面積の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、L字型の図形の面積の求め方を考えたり、考えを図や式を用いて説明したりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

また、使用上の配慮では、全学年の単元の導入で身近な題材から算数の問題を発見し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようにしたり、単元末で、学習したことを日常場面に活用し、何ができるようになったか実感できるようにしたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされています。

続いて、啓林館「わくわく 算数」です。主体的・対話的で深い学びでは、第4学年の概数と四捨五入の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、概数で和や差を求める方法を考えたり、計算の仕方を説明したりするなどして、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられています。

また、使用上の配慮では、第3から6学年の最後に「学びを生かそう『わくわくSDGs』』という学んだことを生かして自分たちに何ができるか考える活動を取り入れたり、2から6学年では児童の気付きを「めばえ」として掲載し、児童から「めあて」を引き出す授業展開ができるように構成したりするなど、主体的かつ発展的に学習に取り組めるような工夫がなされています。

最後に、日本文教出版「小学算数」です。「主体的・対話的で深い学び」では、第4学年の割り算の学習において、今までに習った割り算の計算との違いを考えたり、考えの共通点や相違点について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。

また、使用上の配慮では、第2から6学年で、「算数マイトライ」で理解度、学習の目的に合わせて様々なジャンル・難易度の問題を掲載したり、全学年で「使ってみよう」で作業的・体験的な活動や学習したことを実際の場面に活用する活動の充実を図ったりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされています。

以上、第3小委員会の調査研究の報告とさせていただきます。

(菅野会長)

それでは、ただいま報告をいただきましたけれども、ここでご質問をお受けしたいと思えます。何かございませんか。

上田委員。

(上田委員)

数学的な思考力・判断力・表現力を育成するための工夫が求められていますが、このことについてどのように配慮されているのかお聞きしたいと思います。

(吉本第3小委員会委員長代理)

お答えします。6年生の教科書に絞ってお話ししたいと思います。

東京書籍では、「それなら次は」の見出しで課題解決力を高め、思考を図や式に表すといった学習活動を、本文や特設ページ「考える力をのばそう」で指導できるように工夫されています。

大日本図書では、様々な場面で使える見方・考え方を「ひらめきアイテム」として設定し、学習を進める中で獲得し、巻頭でこれまでの考え方と統合できる工夫がされています。

学校図書では、言葉での説明、図や表を使った説明などの活動が取り入れられており、さまざまな表現力が育むことができるように配慮されています。

教育出版では、「4コマ漫画」で見方・考え方を、振り返るようにし、領域を貫く見方・考え方を、学年を超えて、次の問題解決に生かせるよう工夫されています。

啓林館では、「対称な図形」の既習を生かす場面では、見通しを立てたり、根拠を持って考えを進めたりする様子を例示し、思考力や判断力が育めるようになっています。

最後に、日本文教出版では、算数で使いたい見方・考え方を巻末の「学び方ガイド」の裏面にカルタのように並べることで、数学的な着眼点に気付き、思考力・表現力を身に着けるよう工夫されています。

(菅野会長)

他にございませんか。

小堀委員。

(小堀委員)

算数では、数学的活動を生かした指導を充実させることが求められていますが、このことについてどのように配慮されているかお伺いします。

(吉本第3小委員会委員長代理)

お答えします。4年生の教科書に絞ってお話ししたいと思います。

東京書籍では、思考を図や式に表すといった学習活動を、吹き出しなどで可視化し、本文や特設ページ「考える力をのばそう」で指導できるように工夫されています。

大日本図書では、「ふくろう先生のなるほど算数教室」で、算数への興味・関心を高めたり、算数が社会で生かされていることを実感できる工夫がなされています。

学校図書では、考え方を示した「考え方モンスター」で、各単元末で振り返ることができるようになっており、数学的思考方を総括できるように配慮されています。

教育出版では、子どもの問いの連続「はてな→なるほど!→だったら!？」によって数学的活動を進められるよう構成されています。新学年の始めに、授業開き教材を用意し、学習の進め方や学ぶ態度を学級で共有できるように工夫されています。

啓林館では、巻頭の「考えの進め方」で前年度の学習における数学的な考え方を整理して、本学年の学習に生かすことができるように工夫しています。

最後に、日本文教出版では、問題解決型の学習過程を具体的に示すページ「自分で、みんな」が設定され、「子どもによる主体的な学び」を実現できるように工夫されています。

(菅野会長)

他にございませんか。

東海林委員。

(東海林委員)

数学的な表現を用いて説明し伝えあう活動の充実に向けて、ICTを活用したり、物事の意図を的確にとらえ合理的に考えられるよう、各教科においてプログラミング的思考を育成することが求められています。算数科においてプログラミング教育に関してどのように扱っているか、説明をお願いします。

(吉本第3小委員会委員長代理)

お答えいたします。5年生の教科書に絞ってお話ししたいと思います。

東京書籍では、教科書の特設ページ「プログラミングを体験しよう!」やQRコンテンツを多数活用して、コンピュータを使ったプログラミングを体験できるように工夫されています。

大日本図書では、プログラミングに触れる特設ページを全学年に設け、プログラミング的思考を伸ばすことができるよう工夫されています。

学校図書では、正多角形の性質をもとに、描くための指示を考えるなど、プログラミング的思考、論理的思考が身につくように配慮するとともに、二次元コードから、実際に試すことができるよう工夫されています。

教育出版では、操作が簡単な独自開発のプログラミング教材により、プログラミング的思考に焦点化した授業が行えるよう工夫されています。

啓林館では、「わくわくプログラミン」で、プログラミング体験を通して図形の見方・考え方を深めることができるようにしているほか、問題解決にICTを活用できるよう、シミュレーションQRコンテンツを用意しています。

最後に、日本文教出版では、巻末に「レッツ プログラミング」のページを設け、プログラミング的思考を養うための教材が用意されています。

(菅野会長)

他にございませんか。
加賀委員。

(加賀委員)

身に付けた知識・技能を生活や学習に活用しようとする態度の育成が求められておりますが、このことについては、どのように配慮されているかお伺いをいたします。

(吉本第3小委員会委員長代理)

お答えいたします。3年生の教科書に絞ってお話したいと思います。

東京書籍では、数学的な見方・考え方を働かせ、既習と当該の学習をつなぐための補助発問や吹き出しを適切に設定し、数学的活動を軸とした日常的場面と関連した学習を展開できるよう配慮されています。

大日本図書では、「ふくろう先生のなるほど算数教室」で、算数への興味・関心を高めたり、算数が社会で生かされていることを実感できる工夫がされています。

学校図書では、単元末の「ふかめよう」で、学んだことを具体的な生活に関連させた内容となっており、実感をしながら身に付けた内容を生かせるように配慮されています。

教育出版では、単元末の「学んだことを使おう」で、学習したことを活用し、日常の事象について、問題を発見・解決できるよう工夫されています。

啓林館では、「学びをいかそう」で、日常の場面で算数を活用する課題を取り上げ、算数の有用性を感じ、学び続けようとする態度を育めるよう配慮されています。

最後に、日本文教図書では、算数の楽しさや良さを感じられるように、「使ってみよう」で作業的・体験的な活動や、学習したことを実際の場面に活用する活動の充実を図っています。

(菅野会長)

他にございませんか。

ないようですので、これで第3小委員会の算数についての報告を終了させていただきます。吉本委員、小浪副委員長、大変ありがとうございました。

それでは、次に第4小委員会の理科について報告をいただきます。

(河井第4小委員会委員長)

第4小委員会理科の委員長を仰せつかりました柳町小学校の河井でございます。よろしくお願いいたします。

別紙様式2の報告書にしたがって報告をさせていただきます。調査研究の経過及び調査研究の方法については記載の通りです。

次に、見本本の総合所見について説明をさせていただきます。理科では「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」について、どのような学習活動が取り上げられているかを記載しています。

まず、東京書籍「新編 新しい理科」ですが、第5学年「電流が生み出す力」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、電磁石を強くするためにはどうすればよいのかについて調べ、乾電池の数や導線の巻き数と電流との関係について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が記載されております。

第6学年「てこのはたらきとしくみ」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、てこが水平につり合うときにはどのようなきまりがあるのかについて調べ、実験結果のデータを基にきまりについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が記載されています。

続きまして、大日本図書「新版 たのしい理科」ですが、第5学年「ふりこの性質」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、ふりこの1往復する時

間は何によって変わるのかについて調べ、ふりこの長さ、おもりの重さ、振れ幅について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が記載されています。

第6学年「私たちの生活と電気」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、豆電球と発光ダイオードで使う電気の量にどのような違いがあるのかについて調べ、明かりがついていた時間について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が記載されています。

学校図書「みんなと学ぶ 小学校理科」においては、第5学年「雲と天気の変化」において、問題を見だし、予想を基に観察計画を立てさせるとともに、雲の動きと天気の変化にはどのような関係があるのかについて調べ、雲の動きと雨量の関係について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が記載されています。

第6学年「てこのしくみとはたらき」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、てこが水平につり合うときにはどのようなきまりがあるのかについて調べ、支点からの距離とおもりの重さの関係について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が記載されています。

次に、教育出版「未来をひらく 小学校理科」では、第5学年「電流が生み出す力」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、回路に流す電流の向きを変えると、電磁石は極が入れかわるのかについて調べ、電流の向きと電磁石の極との関係について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が記載されています。

第6学年「電気の利用」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、手回し発電機や光電池を使って、電気をつくることができるのかについて調べ、電気をつくる方法について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が記載されています。

最後に、啓林館「わくわく 理科」ですが、第5学年「電流と電磁石」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、電磁石にはどのような性質があるのかについて調べ、電磁石は極が入れ替わるなど棒磁石との性質の違いについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が記載されています。

第6学年「てこのはたらき」において、問題を見だし、予想を基に実験計画を立てさせるとともに、てこを利用した道具はどのような仕組みになっているのかについて調べ、作用点で働く力の大きさについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が記載されています。

以上、主体的・対話的で深い学びに資する学習への対応について申し上げます。

(菅野会長)

報告をいただきましたけども、ここでご質問をお受けしたいと思います。

菅原委員。

(菅原委員)

小中連携や学びの系統性に関して、生活科や中学理科との関連はどのような工夫されているかお伺いします。

(河井第4小委員会委員長)

お答えいたします。

まず、東京書籍においては、第6学年198ページに「中学生になったら」という単元があります。63ページには「中学校で学ぶこと」、196ページには「一年間を振りかえろう」というような単元があり、中学校理科との関連が記載されております。また各学年の単元には「思い出そう」という項目があり、前学年との関連性、また3年生では「思い出そう生活科」というページがあり、生活科との関連がそれぞれ記載されております。

大日本図書においては、6学年の232ページに「中学生になったら」という中学校との関連が記載されています。また、単元ごとに発展事項として「中学校で学ぶこと」という項目が

あり、また全学年に「次の学年になったら」という項目で次の学年との関連が示されています。

学校図書においては、単元初めに、その単元に関連する「ふりかえり問題」にアクセスできるQRコードが掲載されています。6年生の巻末に「もうすぐ中学生」という進学に対する心構えに関する記載、5年生16ページには算数との関連を示す記載があります。

教育出版においては、5年生の217ページに算数との関連を示す記載や、各単元初めにその単元に関連する「学習のつながり」という、過去の学習内容にアクセスできるQRコードが記載されています。3年生では「ありがとう生活科・よろしく理科」という項目があり、生活科との関連を記載が記載されています。

啓林館では、5年生209ページや巻末の「算数のまど」に算数との関連を示す記載がございます。また、各単元に「発展」の記事があり、中学校との関連が記載されています。各単元に「思い出そう」の記載と共に過去の問題にアクセスできるQRコードが掲載されています。

(菅野会長)

他にございませんか。

有田委員。

(有田委員)

科学的な概念の理科など基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図ることが求められていますが、このことについてどのように配慮されているか教えていただきたいと思えます。

(河井第4小委員会委員長)

お答えいたします。

東京書籍においては、各単元において「思い出そう」「たしかめよう」という基礎・基本的な知識・理解を確かめる場面を設定してあります。

大日本図書では、各単元に「確かめよう」という基礎・基本的な知識・理解を確かめる場面を設定しています。

学校図書では、各単元に「確かめよう」という基礎・基本的な知識・理解を確かめる場面を設定してあります。

教育出版では、各単元に「ふりかえろう」「たしかめよう」という基礎・基本的な知識・理解を確かめる場面を設定しています。また、各巻末に「理科安全の手引き」という記載があり、実験などの安全性に関して記載があります。

啓林館においては、単元の初めに単元の内容を示す動画のQRコードを、各単元に「思い出そう」、また単元末に「ふりかえろう」の掲載があり、振り返り問題にアクセスできるQRコードが掲載されています。

(菅野会長)

他にございませんか。

土屋委員。

(土屋委員)

地域に根差した教育という観点から北海道との関わりのある内容について、どのように取り上げられているのか、説明をお願いします。

(河井第4小委員会委員長)

お答えをします。

東京書籍においては、6年生79ページに北海道砂川市の風景、105ページに北海道鶴川町のムカワリュウ、53ページに北海道上川郡のジャガイモ畑等、全学年合計37枚の北海道に関わり合いのある写真や記載がございます。

大日本図書においては、第4学年「天気と気温」に旭川、5年生9ページに別海町・喜茂別町、100ページにペケレベツ川の全学年合計4枚の北海道に関わり合いのある写真・記載がございます。

学校図書においては、6年生128ページにムカワリュウ、142ページに有珠山等、全学年合計12枚の北海道に関する写真や記載がございます。

教育出版においては、6年生109ページに乙部町・浜中町、125ページに昭和新山、132ページに厚真町等、全学年合計58枚の北海道に関わり合いのある写真や記載がございます。

啓林館は、6年生140ページに昭和新山、3年生59ページに芽室町の防風林、4年生78ページに上士幌町の夜空、6年生149ページに鹿追町等、全学年合計31枚の北海道に関わり合いのある写真や記載がございます。

(菅野会長)

他にございませんか。

山下委員。

(山下委員)

理科においても、徐々に教科担任制が広がってきておりますが、このような状況に対してどのような配慮がされているかお聞きしたいと思います。

(河井第4小委員会委員長)

教科書は誰が使っても教えられるという観点で掲載されていることから、教科担任制だからというような記載は特にございませませんが、より深く学ぶという観点でどのようなことが書かれているかということについてお答えしたいと思います。

東京書籍においては、QRコードによる動画へのアクセスや実験手順の指示等が、全学年で記載されています。

大日本図書でも、QRコードによる動画へのアクセスや実験手順の指示等が、ほぼ全ページにわたって記載されています。ページ端にそのQRコードがあり、読み取りやすい工夫がされているのが特徴です。

学校図書においては、各単元に「発展」という記載があり、指導要領外の発展項目が記載されています。

教育出版においては、SDGsに関するサイトへのリンクをQRコードで記載しています。

啓林館においては、巻末に切り離し可能な植物観察シートが掲載されており、QRコードによる動画へのアクセスや実験手順の指示等が、全学年で用意されています。

(菅野会長)

他にございませんか。

ないようですので、以上で第4小委員会理科についての報告を終了させていただきます。

河井委員長、荒木副委員長、大変ありがとうございました。

ここで昼食休憩にしたいと思います。13時まで休憩にいたします。

小委員会の委員長、副委員長が早く到着したら、少し早めてよろしいですか。

(委員一同)

はい。

(菅野会長)

それでは、12時50分ですよろしいですか。

(委員一同)

はい。

(菅野会長)

では、12時50分まで休憩ということで、よろしくお願いいたします。

<再開12時50分>

(菅野会長)

それでは休憩前に引き続きまして、会議を開きたいと思います。

第5小委員会の生活について、報告をいただきます。

(川原第5小委員会委員長)

第5小委員会生活科で委員長を仰せつかりました、士幌小学校の川原と申します。よろしくお願いいたします。

(伊東第5小委員会副委員長)

上更別小学校の教頭を務めております、伊東です。よろしくお願いいたします。

(川原第5小委員会委員長)

では私のほうから、生活科6者に関わりまして、その概要、また特徴等も含めまして順を追って説明していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

まず東京書籍からいきたいと思います。学習指導要領に記載しております主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応ということに要点を絞りまして、それぞれ述べたいと思います。

具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え、気付きを確かなものとしたり、新たな気付きを得たりするようにするため、上下巻を通じて成長する挿絵の登場人物を活用して、活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し、考える活動が取り上げられています。

東京書籍では、ちょうど裏表紙に6人の小学生の挿絵が入っています。この6人のキャラクターが、学習を進めていく中で成長しながら気付きを子どもたちに与えてくれる作りとなっています。また、見開き等でダイナミックな活動写真を掲載したり、伝承遊び、草花遊び、そして伝統行事などを掲載しています。そうすることによって、児童の学習意欲を高める工夫がされている教科書だと思います。

それから、単元の扉ページに小写真と児童のつぶやきの例を吹き出し等で掲載して表示されています。多様な表現方法の例を表現したりするなどして、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされています。

I C Tの活用等、一人一台対端末を活用した学習活動としましては、二次元コードが各単元に掲載されています。画像や動画のデジタルコンテンツが活用できようにするなど使用上の便宜が図られています。

また、各者を通して、北海道と関わりのある内容を探していったのですが、この東京書籍の教科書では5箇所、取り上げられていました。写真、地名、そして冬の子どもたちの生活等も教科書に取り上げられています。東京書籍は以上です。

続いて、大日本図書に関わってです。大日本図書では、同じく主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習へ、ということで自分の成長したことを実感できる書き込み欄を活用して活動や体験を通して、気付いたこと等について多様に表現し考える活動が取り上げられています。

また、「学習道具箱」というものを活用し「見つける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」等、多様な学習活動を行う活動が取り上げられています。

大日本図書も東京書籍と同じくダイナミックで躍動感のある活動写真やイラストを掲載したり、昔遊び、日本固有の風物詩や行事等を取り上げたりする等して、児童の学習意欲を高

める工夫がされています。活動の視点を示唆するビンゴカードの掲載なども特徴的だと思いました。

また、ICTの活用に関わりまして二次元コードの掲載は、この大日本図書でもあります。画像や動画のデジタルコンテンツを活用できるようにしています。

北海道と関わりのある内容、ここでは2箇所取り上げられておりました。大日本図書については以上です。

続けて、学校図書に移ります。学校図書では、キャラクターによる単元のストーリーを活用して、活動や体験を通して気付いたこと等について、多様に表現し考える活動が取り上げられています。ここでも同じく小学生低学年のキャラクターが出てきて、この子たちが成長していく過程を共に勉強していくといった教科書になっています。

学校で見つけたことをカードに表したり、町で働いている人を調べ、伝えたりする活動を通して自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える活動が取り上げられています。

また、児童の活動など、臨場感あふれる写真を掲載したり、手に入れやすい身近な素材や道具を取り上げたりする等、児童の学習意欲を高める工夫がされています。

この教科書も二次元コードが掲載されており、資料や動画のデジタルコンテンツを活用できるようになっています。

また、本教科書では北海道に関わりのある内容は1箇所だけ取り上げられていました。

続けて教育出版です。具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考え、気付きを確かなものとしたり、新たな気付きを得たりするようにするため、単元を「わくわくスイッチ」、「はっけんロード」と「はてな」、「ぐんぐんはしご」で構成して、活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動が取り上げられています。また、単元導入の「わくわくスイッチ」で動機付けしたり、日本各地の慣習や行事に目を向ける資料を豊富に掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がされています。

また、家の仕事に挑戦する2年間の自分の成長を、リーフレットにまとめたりする等の活動も取り上げられています。

ヒントを活用して「見つける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」などの多様な学習活動が掲載されています。またここでも二次元コードの掲載があり、動画、デジタル図鑑などのコンテンツが活用できるようになっています。

北海道に関わりのある内容は、この教科書は大変多くて9箇所取り上げられています。ちなみに、現行、十勝の子どもたちが使っている生活科の教科書はこの教育出版ですけれど、北海道に関わる内容が大変多く掲載されているということも、北海道のなじみにある、子どもたちが使いやすい教科書のひとつではあるのかなと思いました。

光村図書では、単元を「導入」「展開」「振り返り」で構成して、活動や体験を通して気付いたことなどについて多様に表現し考える活動が取り上げられています。また挿絵のキャラクターの表情や身振りから、楽しさ・真剣さが伝わるイラストや写真を掲載したり、日本各地の伝統文化などを随所で紹介するなどして、児童の学習意欲を高める工夫がされています。

「ひろがる せいかつじてん」というものが掲載されており、そこから「見つける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」などの多様な学習活動を行う活動が掲載されています。

また、単元扉に学習対象と児童の写真、問いかけなどが位置付けられており、小単元に「ひんと」や「ふりかえろう」という位置付けがあり、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされています。

ここでも二次元コードが掲載されており、画像や動画のコンテンツが活用できるようになっています。

北海道の関わりということについては、光村図書も大変多くて10箇所取り上げられていました。

最後に啓林館です。啓林館では、単元を「わくわく」、「いきいき」、「ぐんぐん」の3段階で構成しております。活動や体験を通して、気付いたことなどについて多様に表現し考える活動が取り上げられています。

また、単元導入に「わくわくたいむ」を掲載したり、児童が親しみやすい学習活動や学習対象、学習材を取り上げたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされています。「3年生へのステップブック」の資料単元が設けられており、中学年以降の教育との接続を図るなど、系統的・発展的に学習できるような工夫もされています。

「学びウェブ」や「デジタルたんけんブック」などの二次元コードが掲載されており、動画やデジタル図鑑などを活用できるように、使用上の便宜が図られています。また、北海道と関わりのある内容は本教科書では7箇所取り上げられていました。

以上、6者に関わる説明でした。

(菅野会長)

ここでご質問をお受けしたいと思います。何かございませんか。

中川委員。

(中川委員)

生活科において、他教科等との関連を取り上げているページ数を調査していますが、具体的にどのような教科と関連を図っているのかお伺いします。

(川原第5小委員会委員長)

生活科と他教科との関連に関しましては、1者ごとに概要を説明していきたいと思います。

まず東京書籍では、国語や音楽、図画工作との関連を図った表現活動例や制作活動例が豊富に記載されています。理科や社会などの見方や考え方につながっていく姿が挿絵や吹き出しで記載されています。

大日本図書におきましては、具体的では算数・図画工作・国語・音楽・体育・道徳等の関連がわかるようにマークされているという工夫がされていました。

学校図書におきましては、道徳、特に生命尊重の部分で取り上げられており、体育・理科・図工や音楽、楽器等の掲載がありました。また国語のカードや作文、絵手紙の記載、それから社会の探検活動というものも載っていました。

教育出版におきましては、道徳の特に規範意識という部分が掲載されているように思います。それから、「学びのポケットのコーナー」で各教科との関連を明示しています。

それから光村図書につきましては、大変多く関連されておりました。特別活動は給食の準備に関わること、図画工作、体育、音楽の歌あそび、国語、算数でも関連して種を数えるという活動も入っていました。道徳は生命の尊さ、下巻でも社会の地図作りや理科のゴム・風を使った遊びということで3年生以降の理科、社会とも関わりが大きく図られていました。総合的な学習の時間についても関連が見られました。

最後に啓林館につきましては、図画工作・国語等の関連が多く示されておりまして、また「はってん！」として理科4年生の記載も見られました。他教科とのつながりを通して意識して学ぶような指示も掲載されておりまして。また啓林館ではSDGsについても触れていました。

(菅野会長)

他にございませんか。

山下委員。

(山下委員)

生活科の中では、防災や安全面の学習など、児童が安全・安心に生活するための判断や行動に結びつく学習の充実について、どのように工夫されているか教えていただければと思います。

(川原第5小委員会委員長)

防災・安全教育等については今、求められている部分でもありますので、私たちのほうでも各者調べさせていただいています。

東京書籍では、113ページから115ページにわかりやすいイラストで実際に起こりやすい災害の事例等を上げており、子どもたちも考えやすく想像しやすい工夫が図られています。

大日本図書では、活動の前に配慮が必要な場合の、「こういうことに注意しよう」というようなイラストでわかりやすく注意されています。また、132ページ、133ページの2ページにわたりまして、災害や防災、衛生面について吹き出しやイラストで具体的に記載されています。

学校図書では、「いかのおすし」が表示されています。また、学校で働く人に注目して、自分達の学校生活をより安全・快適で豊かなものにするという記載がされています。また、町探検をするにあたって、計画の段階で安全に関することが確認されています。下巻には「子ども110番の家」も表示されていました。

教育出版では、校外に出る活動で「安全な歩き方」が載っています。それから、地域との関わりということも含めて安全を守ってくれる人の掲載、そして注意喚起がされています。また、教育出版のほうでも「いかのおすし」と「子ども110番の家」の記載がされていました。

光村図書につきましては、「きを つけよう」のコーナーが各ページに設けられています。自然災害、交通災害、人的災害、また道具を使用する際の注意点、手洗いの励行など健康や衛生の注意点等を示しております。二次元コードの資料においても、各活動に関わる安全面での掲載、動画などが収録されていました。

最後に啓林館では、「あんぜんにすごそう」という安全に対する約束が記載されております。また、各所に「こんなときどうしよう」というトピックで、安全な生活のための望ましい態度や行動を考えるようになっていきます。また、下巻のほうには咳など感染症に対してのマスク着用の促しがあります。また上下巻を通じて、奇数ページ右上部に「手を洗おう」「うがいをしよう」「熱中症に気をつけよう」など、活動に合わせて衛生面を促すトピックが掲載されています。

(菅野会長)

他にございませんか。

細川委員。

(細川委員)

幼児教育から小学校教育への円滑な接続ということが求められていますが、各教科書にスタート・カリキュラムの内容は掲載されているかお聞きいたします。

(川原第5小委員会委員長)

幼児教育との関連、またスタート・カリキュラム等に関わりましても、各教科書一番最初のところに、学習を始めるにあたり、または生活科の学習にあたりましての関連が記載されています。

まず東京書籍では1ページから13ページにわたって特集ページが組まれております。具体的に表現されることで円滑な接続が考えられているように思います。

また、大日本図書では1ページから7ページまで特集ページが組まれております。幼・保から小学校への円滑な接続がねらわれているように思います。

それから学校図書では、「はじまるよ しょうがっこう」という特集が1ページから11ページまで記載されておりまして、幼保との円滑な接続ができる構成になっております。

教育出版のほうでは、上巻3ページから9ページに「はじめの いっぱい」という特集があり、幼児期までに育ってほしい姿をページの下段にイラストで表されておりまして、それを活かしている学習を写真にて表現されています。

光村図書におきましては、上巻「いちねんせい が はじまるよ」という中で、6ページから19ページで特集されています。「幼稚園教育要領」「保育所保育方針」等の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた、スタート・カリキュラムのページが設けられています。「もうすぐ みんな 2年生」等で、幼児との交流活動を示しています。

最後に啓林館ですが、上巻の冒頭に「がっこう だいすき いちねんせい」というスタート・カリキュラムの特集ページが組まれており、幼・保からの円滑な接続が図られています。

(菅野会長)

他にございませんか。

高橋委員。

(高橋委員)

先ほど受けた説明と重なるかもしれませんが、児童が自分自身を見つめることを通して、自らの生活や成長についての認識を深め、さらに気づきを高めるという観点での学習活動の充実について、どのように取り上げられているかお伺いいたします。

(川原第5小委員会委員長)

これに関しましては各者ともに「気づき」とか、「自分を見つめる・振り返る」という構成になっておりますので、随所にこの内容が盛り込まれています。

東京書籍につきましては、下巻の114ページから117ページにわたって「見つける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」など、気づきとの関連づけ、質的に高めるための学習活動をまとめた資料が掲載されています。

大日本図書では、「がくしゅうどうぐぼこ」というコーナーがありまして、そこを活用して「見つける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」などの多様な学習活動を行うことで気づきを確かなものとしたり、新たな気づきを得ようとするため自分の成長したことを実感したりできるように工夫されています。

学校図書では、上巻の「ありがとうが いっぱい」という中で、家庭で家の人がどんな仕事をしているのか、自分は家でどんな仕事をしているのかを課題とした活動に取り組み、自信を持たせ、また頑張ろうとする気持ちを抱かせるような工夫がされています。また上巻の最後には「もうすぐ 2年生」ということで、1年間を振り返って、できるようになった自分、何ができるようになったか、どんな成長をしたかを振り返れるようになっています。また、新1年生を迎えるにあたって、何をしてあげたらいいのか考える内容にもなっています。

教育出版では、各単元末に振り返り活動が重視されておりまして、自己評価をすることで意欲や自信につながる活動が記載されておりまして、下巻では「あしたへつなぐ じぶんたんけん」、ここでは自分の成長をリーフレットにまとめて、自分自身の良さや可能性に気づき、意欲や自信をもって生活できるようにする活動が掲載されています。

光村図書では、「みんなの にこにこ 大きくせん」「もうすぐ みんな 2年生」「2年生が はじまるよ」「広がれ わたし」など、各単元の中で家族との関わり、自分の成長への気づき、学んだことの振り返りや、以後の成長へとつながる内容が多く掲載されています。

最後に啓林館ですが、全単元が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3構成となっており、「ぐんぐん」の段階で学びを振り返ったり、学びを伝えあう場面が充実しています。また「もうすぐ2年生」では、1年間の活動を振り返り、新1年生を迎える心づくりまでを取り扱っておりまして、できるようになったことを具体的に振り返り、成長に関わった方々への感謝まで活動を広げている教科書となっています。

(菅野会長)

他にございませんか。

ないようですので、第5小委員会の生活についての報告を終了させていただきます。川原委員長、伊東副委員長、大変ありがとうございました。

それでは、次に第6小委員会の音楽につきまして報告をいただきたいと思います。

(石丸第6小委員会委員長)

説明させていただきます、新得町立富村牛小中学校の石丸です。よろしくお願いいたします。

(大石第6小委員会副委員長)

副委員長の音更町立東士幌小学校教頭の大石と申します。よろしくお願いいたします。

(石丸第6小委員会委員長)

それでは、音楽のほうの小学校用教科用図書について説明させていただきます。まず、お手元にあります別紙様式2「1. 調査研究の経過」、「2. 調査研究の方法」については、記載の通りとなっております。「3. 見本本の総合所見」については、教育出版と教育芸術社の2者があり、まず教育出版の「小学音楽のおくりもの」についてです。

「日本と世界の音楽」について、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、例えば3・4年生では学習活動の後に、さらにいろいろなリズムや歌を楽しむなど、考えを広げたり、深めたりする活動、5・6年生については「アンサンブルのみりよく」において、学習活動の後に、思いや意図を大切にしながらみんなで表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられています。

「音楽づくり」については、1・2年生ではリズムを作って遊んだり、太鼓の音やリズムを音で表現して音楽をつくる活動、5・6年生については和音に含まれる音を使って旋律を作ったり、リズムを組み合わせ、まとまりのある音楽を作ったり即興的な演奏を楽しむ活動などが取り上げられています。

I C Tの活用については、二次元コードを全学年でふんだんに使っており、一人一台端末に対応していろいろ調べるなど、いろいろなことができるようになっていきます。例えば、教育出版の1年生の教科書で、「ドレミファソの音であそぼう」というのがあります。QRコードがページに載っているのですが、QRコードを読み込むと鍵盤の動画が出てきて、模範の演奏をしてくれます。いろいろな工夫がされていて、どこからでもタブレットで活用できるようになっています。

また、折り込みを使ったワイドな紙面を活用していて、歌詞に忠実な写真を入れたり、即興的に表現する活動を取り入れたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされています。

教育芸術社の「小学生の音楽」では、主体的・対話的で深い学びについて、3・4年生の「日本の音楽でつながろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、箏曲を鑑賞した後に、日本の音階の良さを感じ取りながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動、5・6年生については「詩と音楽との関わりを味わおう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本歌曲の鑑賞の後に、曲想を感じ取って、思いが伝わるように歌うなど、考えを広げたり、深めたりする活動などが取り上げられています。

「音楽づくり」については、言葉でリズムをつくったり、リズムを繰り返し使ったりして、音楽をつくる活動が1・2年生、5・6年生では、条件に合わせながら試行錯誤する活動や段階的に進めながら複数人で一つの音楽をつくる活動などが取り上げられています。

教育芸術社についても、I C Tを活用、二次元コードがいろいろなところで掲載されています。例えば「こきりこを聞こう」というコーナーにもQRコードがついていて、実際の演

奏者が曲の説明をするなど、各出版会社において学びを深められる工夫がされています。そのほか、学習をサポートする写真やイラストを掲載したり、ナビゲーターのキャラクターを取り入れたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がされているのも教育芸術社の特徴です。

以上が説明になります。

(菅野会長)

ここでご質問をお受けしたいと思います。何かございませんか。

水野委員。

(水野委員)

児童が自らの感性や創造性を働かせながら「音楽づくり」を充実させるため、どのような取扱いがされているか、もう少し詳しく説明してください。

(石丸第6小委員会委員長)

教育出版の「音楽づくり」については、リズムを作って遊んだり、太鼓の音やリズムを音で表現して音楽をつくる活動、5・6年生については和音に含まれる音を使って旋律を作ったり、リズムを組み合わせるとまとまりのある音楽を作ったり、即興的な演奏を楽しむ活動などが掲載されています。

教育芸術社についても、低学年については言葉でリズムをつくったり、リズムの繰り返しを使ったりして音楽をつくる活動、5・6年生については条件に合わせながら試行錯誤する活動や、段階的に進めながら複数人で一つの音楽をつくる活動などが掲載されています。

(菅野会長)

他にございませんか。

渡辺委員。

(渡辺委員)

我が国の音楽や郷土の音楽に親しみ、その良さを味わうためにどのような工夫がされているかお伺いいたします。

(石丸第6委員会委員長)

教育出版社については、4年生は「ソーラン節」、5年生は日本の民謡ということで「こきりこ節」、6年生は伝統楽器、箏とか尺八についてなど、各学年に伝統と文化を尊重する心を育むような配慮がされています。

教育芸術社のほうも、4年生では郷土の音楽についてということで「こきりこ節」、5年生では生活との関わりが深い民謡鑑賞ということで「ソーラン節」、6年生では「越天楽」など、各学年で親しみながら表現したり鑑賞したりできるようになっています。

(菅野会長)

他にございませんか。

沼田委員。

(沼田委員)

音楽的な見方・考え方を働かせるための効果的な指導について、どのような取扱いがなされているのか、お伺いします。

(石丸第6委員会委員長)

教育出版、教育芸術社ともにユニバーサルフォントを使用しています。あと、教育出版については、他教科と関連する教材として、「ショートタイムラーニング」を全学年で掲載したり、一人一台端末を活用した学習活動として、二次元コードを各学年で掲載して、いろいろな動画や説明文などで、学びに広がりをもたせる工夫がされています。

教育芸術社については、外国語活動と関連した簡単な英語の歌詞の歌を掲載したり、教育出版同様一人一台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなどしています。全学年、参考となる音源や資料を活用できるようにしています。

(菅野会長)

他にございませんか。

東海林委員。

(東海林委員)

音楽科における国歌「君が代」については、児童の発達の段階に即して適切な指導を行う必要がありますが、このことについて、各者どのように取り扱われているか説明をお願いします。

(石丸第6委員会委員長)

教育出版につきましては、歌詞と楽譜が読みやすい見開き構成として、児童が親しみをもって歌えるようにさざれ石の写真を掲載していたり、歌詞の意味が分かるように説明文を掲載しています。説明文の内容や使用する漢字については、発達段階に合わせています。

教育芸術社については、国歌への意識が高められるよう、また、すぐに開くことができるように最終ページに配置しています。発達段階に合わせて使用する漢字を使っているとともに、高学年から「国際社会の平和と発展について」というコーナーも掲載しています。

(菅野会長)

他にございませんか。

ないようですので、以上をもちまして第6小委員会音楽についての報告を終了させていただきます。石丸委員長、大石副委員長、大変ありがとうございました。

それでは次に、第7小委員会の図画工作について報告をいただきたいと思います。

(金子第7小委員会委員長)

図画工作科の委員長を仰せつかりました陸別町立陸別小学校教頭の金子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

(佐々木第7小委員会副委員長)

副委員長を仰せつかりました鹿追町立笹川小学校 佐々木睦美です。どうぞよろしくお願いいたします。

(金子第7小委員会委員長)

それではお手元の別紙様式2の報告書に関わりまして、私からご説明させていただきます。

「1. 調査研究の経過」につきましては、記載の通りとなっております。また「2. 調査研究の方法」につきましても、「ア」「イ」「ウ」3点について記載の通り行ってまいりました。

「3. 見本本の総合所見」ということで、こちらをご説明させていただきます。

2者の教科書について扱いましたけれども、開隆堂出版につきましては、大きな特徴として、第5・6学年において、児童が主体的に取り組むことができるように「図画工作を学ぶ皆さんへ」というページを設けたり、「未来へつながる図画工作」を設けたりするなどの工夫がされていました。また、児童の学習意欲を高めるように、全学年において、いきいき

と活動する児童の姿の写真を掲載し、さらに地域の伝統文化や材料などを生かした造形活動を取り上げた「みんなのギャラリー」を掲載するなどの工夫がされていました。

一方、日本文教出版の教科書につきましては、全学年において、児童が主体的に取り組むことができるよう「教科書の使い方」を設けたり、第5・6学年で「図画工作での学びをふり返ってみよう」を設けたりするなどの工夫がされていました。また、全学年において、児童の学習意欲を高めるように、授業の表現や試行錯誤する情景写真を掲載したり、全国のさまざまな造形活動や美術館の取り組み、伝統工芸、美術作品などを掲載したりするなどの工夫がされていました。以上、雑駁ですが説明を終わらせていただきます。

(菅野会長)

ここでご質問をお受けしたいと思います。何かご質問はございませんか。
有田委員。

(有田委員)

身近な素材の活用という観点で、北海道の素材は、どのような内容が取り扱われているのか、説明をお願いしたいと思います。

(金子第7小委員会委員長)

それでは、開隆堂出版と日本文教出版の教科書、2点の視点でご説明させていただきます。開隆堂につきましては私が担当しましたので私のほうから、日本文教出版は副委員長が担当されたので副委員長がお答えしたいと思います。

身近な素材の活用という観点で北海道の素材はどのような内容で、というようなご質問だったと思います。まず、開隆堂につきましては、北海道に関わる内容につきましては、北海道札幌市『雪の世界遺産』など複数取り上げ、その良さを十分に味わえるようになっていました。また、図画工作で培われる力が、地域や身近な社会にかかわることを示すことで、児童が伝統と文化を尊重し、それらを育んできた郷土を愛するきっかけとなることを目指しているようです。

(佐々木第7小委員会副委員長)

日本文教出版です。北海道に関わる内容については、北海道札幌駅にあります安田侃の作品など複数取り上げられていました。北海道と併せて、全国さまざまな造形活動や美術館の取り組み、伝統工芸、美術作品などを掲載しており、児童が自分たちの住む地域や全国の地域に関心をもったり、活動の参考にしたりできるように配慮されていました。

(菅野会長)

他に何かございませんか。
小堀委員。

(小堀委員)

幼稚園や保育園からの接続や、中学校との接続を図ることが求められていますが、このことについてどのように配慮されているのか、お伺いしたいと思います。

(金子第7小委員会委員長)

開隆堂につきましては、1・2年上巻の最初のページで、幼稚園教諭が登場して、児童に幼稚園や保育園での活動を思い起こさせながら、これから始まる図画工作の学習に希望を抱かせるような構成となっていました。また、身体性を伴う造形活動や、身近な自然や友達との関わりを大切にする題材が多く設定されていて、幼稚園・保育園での体験をもとに活動が展開されるように工夫されています。また、中学校「美術」への接続では、最終のペー

ジに折り込みで「未来につながる図画工作」と題しまして、中学校生活に向けて、小学校図画工作の学びが生かされるよう配慮されていました。

(佐々木第7小委員会副委員長)

日本文教出版です。1・2年生上巻の巻頭に「どんなこと すき だった？」のページを設けることで、幼少期の造形活動が図画工作科の学習内容につながっていることを示すとともに、1年生がこれまでの知識や経験を生かしながら小学校での学習に入っていけるよう配慮されていました。中学校との接続ページも設定されており、図画工作での経験を振り返りながら、何を学習してきたのかを考え、中学校への学びのつながりを意識することができるよう工夫されていました。また、中学校の美術科や技術科との関連に配慮したページなどが設けられていました。

(菅野会長)

他にございませんか。
渡辺委員。

(渡辺委員)

子どもたちの豊かな感性を育むために、鑑賞と表現を関連付けて指導することが求められていますが、このことについてどのように配慮されているか、お伺いいたします。

(金子第7小委員会委員長)

開隆堂では、授業から生まれた児童の作品だけではなく、我が国や諸外国の多様な作品が掲載されています。また、各学年で鑑賞作品と児童の活動が関連して扱われ、継続しながら造形的な良さや美しさを見つけられる構成になっていました。

(佐々木第7小委員会副委員長)

日本文教出版です。身の回りにある造形や美術作品について、受動的に見るだけでなく、能動的に絵に表すなどの表現活動を取り入れることで、表現と鑑賞を往来しながら学びを深められるような題材が設定されていました。また、題材の内容と関連の深い美術作品などが掲載された「教科書美術館」が、題材ページと連続した構成になっており、表現と鑑賞を関連付けながら学習できるように工夫されていました。

(菅野会長)

他にございませんか。
菅原委員。

(菅原委員)

児童の安心・安全、事故防止に関しまして、用具の使い方や安全指導への配慮について、どのような記載がなされているのか、説明をお願いいたします。

(金子第7小委員会委員長)

開隆堂では、各学年の巻末8ページに「学びの資料」を設定し、用具の基本的な扱い方をイラストや写真で示すとともに、必要な個所には「安全」マークをつけて、安全な使い方ができるように配慮されています。また、後片付けにつきましても、配慮すべき点をマークとともに、写真やイラストを用いて具体的に例示していました。

(佐々木第7小委員会副委員長)

日本文教出版も、巻末8ページに「材料と用具のひきだし」というページが設けられています。用具の基本的な扱い方のポイント、活動場所の安全を確認することなどを示している

ものです。二次元コードから用具の扱い方に関する動画を見ることができるようになっていたりと、安全指導を○×形式で分かりやすく取り扱ったりしていました。題材ページにも安全指導を掲載するなどして、安全に配慮する態度を養うことができるよう工夫されていました。

(菅野会長)

他にございせんか。

ないようですので、第7小委員会の図画工作につきまして報告を終了させていただきます。金子委員長、佐々木副委員長、大変ありがとうございました。

それでは次に、第8小委員会の家庭について報告をいただきたいと思います。

(菅野第8小委員会委員長)

第8小委員会委員長を務めさせていただいております音更町立下士幌小学校 菅野と申します。どうぞよろしくお願いたします。

(岸山第8小委員会副委員長)

副委員長をやらせていただいております足寄町立足寄小学校の岸山と申します。よろしくお願いたします。

(菅野第8小委員会委員長)

それでは私から令和6年度から使用する小学校用教科用図書について、家庭科の教科書見本本の調査研究結果を報告させていただきます。報告書の「1. 調査研究の経過」「2. 調査研究の方法」につきましては書かれている通りですので割愛させていただきます。

続きまして、第8小委員会6名の調査委員で3回の検討を行いました見本本の総合所見について報告をさせていただきます。

東京書籍「新しい家庭5・6」については、「B 衣食住の生活」においては、「青菜のおひたし・ゆでいも」や「ご飯とみそ汁」の調理、第5学年の「マイ・ミニバック」、「エプロン」の製作、栄養のバランスの良い一食分の献立、第6学年の「トートバック」の製作、このような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。

内容の分量については、「A 家族・家庭生活」は34ページ、「B 衣食住の生活」は77ページ、「C 消費生活・環境」は10ページ、「A 家族・家庭生活 及び B 衣食住の生活」は5ページ、「B 衣食住の生活 及び C 消費生活・環境」は9ページあり、「その他」はありませんでした。総ページ数は135ページで、前回より約7%減となっていました。

調理や製作の技能については「いつも確かめよう」として写真や挿絵でまとめて掲載したり、QRコードでインターネットに接続し、動画を見たりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされていました。

続きまして、開隆堂「わたしたちの家庭科5・6」についての所見です。「B 衣食住の生活」において、「青菜のおひたし・ゆでいも」や「ご飯とみそ汁」の調理、第5学年の「カード入れ」や「ランチョンマット」の製作、栄養のバランスの良い一食分の献立、第6学年の「マイバック」の製作、このような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。

内容の分量については、「A 家族・家庭生活」は31ページ、「B 衣食住の生活」は86ページ、「C 消費生活・環境」は12ページ、「B 衣食住の生活 及び C 消費生活・環境」は6ページあり、「その他」はありませんでした。総ページ数は135ページで、前回とほぼ同等となっていました。

調理や製作の技能については「いつも確かめよう」として写真や挿絵でまとめて掲載したり、QRコードでインターネットに接続し、動画を見たりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされていました。

以上で、当委員会からの報告を終わります。

(菅野会長)

ありがとうございました。報告をいただきましたけれども、ここでご質問をお受けしたい
と思います。何かございませんか。

中川委員。

(中川委員)

消費者教育の充実を図るために、どのような学習活動が取り扱われているのかお伺いした
いと思います。

(菅野第8小委員会委員長)

まず東京書籍からご説明いたします。36ページ「持続可能な社会へ物やお金の使い方」で
は、身近な物のとの関わりについて考え、その中で必要な物を手に入れる方法を話し合う活
動や、実際にどのような場面で売買契約が成立するかを考え、買い物をするときの手順や、
支払方法を学ぶ活動が取り扱われています。

開隆堂につきましては、58ページ「生活を支える物やお金」では、自分や家庭の生活を振
り返り、物やお金が生活を支えていることに気付き、必要な情報を使って計画的に買い物を
したり、目的に合った物の選び方や使い方の工夫を見つけたりなど、自分の生活に生かす活
動が取り扱われています。

(菅野会長)

他にございませんか。

福地委員。

(福地委員)

児童が学習を通して生活を見つめ直し、生活をより良くしようと工夫する力や実生活にお
いて実践しようとする態度の育成について、どのように配慮されているかご説明をお願い
いたします。

(菅野第8小委員会委員長)

それでは東京書籍から説明させていただきます。54ページ「物を生かして住みやすく」で
は、身の回りや生活の場を見つめて、整理整頓や掃除をし、快適に生活しようとする工夫が
記載されています。80ページ「見つめてみよう生活時間」では、時間の使い方の工夫が記載
されています。

続きまして、開隆堂につきましては、28ページ「整理整頓で快適に」では、気持ちよく安
全に生活するために、整理整頓の仕方を見直しながら、環境にも配慮してよりよい生活をし
ていこうという取り組みが記載されています。84ページ「生活時間をマネジメント」では、
生活時間を工夫して協力することが自分も家族も健康で快適な生活を送ることにつながるこ
とに気付くことが記載されています。

(菅野会長)

他にございませんか。

程野委員。

(程野委員)

事故防止の観点から、授業で用いる用具や機器類の点検・整備、安全面・衛生面の留意事
項についてどのように配慮がされているかお伺いします。

(菅野第8小委員会委員長)

東京書籍につきましては、8ページの冒頭「いつもたしかめよう」で、衛生・安全に気をつける内容が記載されています。

10ページでは調理実習での留意点、16ページにはガスコンロの使い方、72ページではミシンの使い方が記載されています。

開隆堂につきましては、安全チェックマークのついている箇所には、安全や衛生に注意することが記載されています。各ページ色々な場所で記載されています。142ページには表として集約して安全について表記されています。

(菅野会長)

他にございませんか。

上田委員。

(上田委員)

中学校への学びの連続性に関して、中学校技術・家庭科とのつながりはどのように取り扱われていますか。お伺いします。

(菅野第8小委員会委員長)

それでは東京書籍からご説明させていただきます。135ページに「2年間のまとめ」と題し、中学校への学習に意欲をもち、かつ円滑に接続できるように見通しを持つ場面が設けられています。

開隆堂につきましても、136ページのまとめのページ「2年間の学習を中学校につなげよう」では、小学校の家庭科と中学校技術・家庭の学習のつながりについて、写真を用いた表で記載がされています。

(菅野会長)

他にございませんか。

ないようですので、以上をもちまして、第8小委員会家庭科について報告を終了させていただきます。菅野委員長、岸山副委員長、大変ありがとうございました。

それではここで休憩を取りたいと思います。14時20分まで休憩とします。よろしくお願ひします。

<再開14時20分>

(菅野会長)

それでは休憩前に引き続きまして、会議を開きます。

第9小委員会の保健について報告をいただきます。

(坂下第9委員会委員長)

第9小委員会委員長の東土狩小学校 坂下でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

私たち第9小委員会は、令和6年度から使用する教科用図書について別紙報告書に基づき報告させていただきます。まず調査研究の経過につきまして、6月28日、7月7日、14日に専門的な視点と学識経験者の視点で公平かつ慎重に調査しました。調査研究の方法につきましては、調査研究の観点に基づき、教科書編修趣意書及び北海道教育委員会が作成する採択参考資料を参考に行いました。詳細につきましては、報告書2のア、イ、ウに記載されている通りです。

続いて、3番目の見本本の総合所見について報告いたします。私たち第9小委員会は6者の見本本を調査しました。6者とも、今日的課題であるICTの活用、教科横断的視点に立

った指導内容、多様性を意識した編成、SDGsを意識した対応ということになっていました。また、まとめの段階でも児童自らが実生活に生かせる内容となっていました。

それでは会社ごとに説明いたします。

まず、東京書籍「新しい保健」についてです。主体的・対話的で深い学びとなるように、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4ステップで構成されていました。思考力・判断力・表現力を育むための具体的な活動を設定し、記入スペースも多く確保されていました。

大日本図書の「たのしいほけん」ですが、主体的に学習意欲を育むため、健康や安全についての課題を自分のこととして捉え、自ら学習に取り組むことができるよう編集されています。対話を通じた活動で思考を広げ深めるため、話し合ったり、協力して解決策を見出したり、自分の思考を広げて深めたりする活動が設定されています。

大修館書店の「新 小学校保健」ですが、身近な生活の中から課題を発見することに主眼を置き、保健の見方・考え方を働かせ、主体的な学びをスタートできるよう導入が工夫されていました。「課題をつかもう」「考えよう・話し合おう」「まとめ」の3ステップで構成され、児童が主体的に学習を進められるよう構成されています。

文教社「新 わたしたちの保健」ですが、自ら課題を見つけ、各単元の始まりに学習を見通すことができるよう「動機付け」ページを配置しています。設定した課題を解決するための活動として、「調べてみよう」という発問により、子どもたちが主体的に学習を進められるよう構成されています。

光文書院「小学保健」ですが、「何のために」「何を」「どのように」学ぶのかを明らかにし、見通しをもって取り組めるよう工夫されています。自分の課題を見つけ、解決に向けて進んで学び、考える力が育成できるよう、理解を深める科学的資料の掲載、関連する職業や専門家の話の掲載等工夫が見られます。

学研「新・みんなの保健」ですが、1時間ごとに主体的・対話的で深い学びを実現するため、「つかむ」「考え・調べる」「まとめる・深める」と「本文」で構成されていました。保健の「見方・考え方」を身につけ、働かせられるよう、生活を保健の視点で捉えられるよう構成されています。

続いて「その他」として、会社ごとに何点か報告させていただきます。

東京書籍の「新しい保健」ですが、表紙のページから目についたのですが、多様性を認める共生社会の実現のため、全編にわたり写真、イラスト、記述に配慮が見られます。具体的には車いすの子どもが掲載されていたり、肌の色が違う子どもが掲載されていたりしました。

大日本図書の「たのしいほけん」ですが、「折り込みカード」が付録され、各時間において子どもたちが主体的に学べる工夫が見られました。

大修館書店の「新 小学校保健」ですが、学習のまとめとして「ほけんクイズにトライ！」というQRコードが設けられ、QRコードを読み込むとクイズに回答できるようになっていて、楽しみながら学ぶ工夫がされています。

文教社「新 わたしたちの保健」ですが、教科書の巻末に「わたしのけんこう宣言」「わたしのすくすく宣言」が設けられ、体の健康と心の健康が自分の生活に直結していることと、健康の三原則を意識した学びが展開できるようになっています。

光文書院「小学保健」ですが、「さらに広げよう深めよう」では、スポーツ障害、スポーツと食事、睡眠と健康の関わりについて学べるように資料が掲載されています。

学研「新・みんなの保健」ですが、「科学の目」というマークで表示し、保健を科学的に捉えるように促す資料が全体にわたって掲載されていました。

以上が第9小委員会の報告とさせていただきます。

(菅野会長)

報告をいただきましたけれども、ここでご質問をお受けしたいと思います。

程野委員。

(程野委員)

体力については、学習意欲や気力の充実に大きく関わるものですが、本道の課題である体力の向上については、どのように配慮されているのかお伺いします。

(坂下第9委員会委員長)

教科書会社ごとに具体的にどのような配慮があったのか、お話しさせていただきます。

東京書籍におきましては、運動がもたらす効果から運動を楽しく続けようにつながっていました。家や学校・地域での活動も紹介しています。

大日本図書は、資料として運動の効果を紹介しています。生活のリズムを整えることで元気に運動をすることを学ぶことができるようになっていきます。

大修館ですが、体の成長に運動の効果があることを学び、そこから体育の時間の運動につながっていました。資料として、色々な動きや運動を紹介し継続することの大切さも伝えていきます。

文教社ですが、体のよりよい発育・発達のために調べる活動から、適切な運動につながっています。生活のリズムを整えることにより、さまざまな場面で運動をすることを学べるようになっていきます。

光文書院ですが、よりよい生活の仕方から運動・食事・休養・睡眠について気をつけることを学び、運動の継続が体力向上につながるということを掲載しています。さまざまな運動を紹介しているウェブサイトの紹介もしています。

学研ですが、体の発育・発達について学習した後、今後のよりよい発育・発達のために運動の重要性を記載しています。また、発育に適した運動の例や効果を具体的に挙げ、体力を高めることの大切さを本単元のまとめとして設定しています。

保健の教科書は、運動領域ではなく保健領域の教科書のため、直接運動のスキルが上がるとか、能力が向上するという記載はないのですが、体力向上の必要な要素として健康の三原則を意識した生活が不可欠であると考えます。また、運動を生涯にわたり親しむためには健康の三原則はもちろん、心の健康にも配慮した内容が必要であり、見本本には随所にそういったことが記載され、配慮が多く見られました。

(菅野会長)

他にございませんか。

細川委員。

(細川委員)

児童の心の発達や不安、悩みなどの指導が求められていますが、こういった心の健康という観点からは、どのように配慮されているか伺います。

(坂下第9委員会委員長)

現代の社会は、少子高齢化や不登校児童の増加等により、児童の人との関わり方も多様化・困難化してきております。心の健康を維持するためにも、自他を認め合うコミュニケーションスキルの獲得や、自らの不安や悩みを解消する対処も必要になってくると考えています。

東京書籍につきましては、車いすテニスの国枝選手の体験談を通して、コミュニケーションや気持ちを伝えることの大切さについて記述されています。

大日本図書ですが、不安や悩みについて、具体例を5つほど挙げて解決のヒントを例示しています。

大修館も、不安や悩みへの対処法として運動や呼吸法などによって自分で対処する方法、それと相談や人と関わりながら対処する方法の二本立てでわかりやすく説明されています。

文教社ですが、不安や悩みへの対処法として相談することや人と関わりながら対処したり、運動や呼吸法などによって自分で対処したりする方法の二本立てで説明されています。

光文書院ですが、不安や悩みは誰にでもあることと、その対処法は様々あり、自分に合った方法を見つけることが大切であると強調して書かれています。

学研ですが、不安や悩みの対処法について「出し合ってみよう」という活動があり、様々な方法について話し合いながら学習できるようになっています。

(菅野会長)

他にございませんか。

有田委員。

(有田委員)

多様性という観点から、LGBTQへの対応については、どのように取り扱われているのかお伺いします。

(坂下第9委員会委員長)

まず東京書籍ですが、37ページにおいて、「異性」の記述を「好きな人」や「異性やほかの人」というように置き換えていました。また、3・4年生の38ページにおいて、資料「性と自分らしさ」を新設し、SOGIE（ソジー）の考え方を基に性の多様性を表現しています。

大日本図書では、ジェンダー記載が3・4年生の39ページ、5・6年生の17ページに記載しています。

大修館は、3・4年生教科書の11ページと37ページ、5・6年生教科書の10ページと67ページに、多様性という面でイラストの工夫がされています。

文教社ですが、個人の考え方の尊重についての記載が3・4年生の31ページに、その人らしさということでSDGsとの関連が掲載されています。

光文書院は、LGBTへの直接的な記載は見られませんが、成長の個人差や一人ひとりの個性の認め合いを尊重することの大切さを理解できるように強調されています。また、3・4年生教科書の27・28ページ、32・33ページにおいて、性の多様性にも触れ、性的マイノリティの児童が安心して学習に臨めるような配慮がされています。

学研では、3・4年生教科書の38ページと45ページ、5・6年生の教科書の10ページにおいて、イラストや図が男子・女子などの性、外国にルーツを持つ子どもなどの多様性を尊重し、人数や役割、配色などが固定的なイメージにならないような配慮がされています。

現在、社会が大きく変化し、LGBTQだけではなく多様性を尊重する、そういった社会づくりが求められておりますので、これらの教科書にはそのように記載されていると考えます。

(菅野会長)

他にございませんか。

加賀委員。

(加賀委員)

それぞれの教科書におきまして、北海道と関連する内容については、どのように取り扱われているのかお聞きいたします。

(坂下第9委員会委員長)

各者、大きく取り上げているところと、全く取り上げていないところがありましたので、まず東京書籍です。こちらについては3・4年生の44ページにレバンガ北海道の選手を題材とした管理栄養士のお話が掲載されていました。また、5・6年生の75ページで災害が起きた時の保健活動の写真ということで、一部北海道に関連する写真が掲載されていました。

続いて大日本図書ですが、こちらについては記載がありませんでした。

大修館の3・4年生の25ページに、地元十勝出身のアスリートであります、高木美帆選手のインタビューが掲載されています。5・6年生の33ページには、写真の資料として、札幌市のユニバーサルデザインの写真が掲載されています

文教社ですが、関連する内容というには程遠いかもしれませんが、5・6年生の26ページに都道府県別の交通事故の死者数と負傷者数というデータとして北海道が他県と同様に取り扱われています。

光文書院については、記載はありませんでした。

最後に学研ですが、5・6年生の66ページには札幌市のポスター、同じく71ページには飲酒防止のポスターということで地元北海道が関連した資料として掲載されています。

(菅野会長)

他にございませんか。

ないようですので、以上をもちまして第9小委員会の保健につきまして報告を終了させていただきます。坂下委員長、松浦委員、大変ありがとうございました。

それでは次に、第10小委員会の英語につきまして報告をいただきたいと思います。

(稲葉第10小委員会委員長)

第12地区教科書採択調査委員会第10小委員会委員長 池田小学校校長 稲葉珠樹と申します。どうぞよろしくお願いたします。

(田村第10小委員会副委員長)

副委員長の勇足小学校教頭 田村浩文と申します。よろしくお願いたします。

(稲葉第10小委員会委員長)

それでは、第10小委員会では外国語ということで、教科書の採択について検討させていただきました。

「1. 調査研究の経過」ならびに「2. 調査研究の方法」については、記載されているものをご確認いただきたいと思います。

さっそく、私と田村のほうから「3. 総合所見」について説明をさせていただきます。まず、外国語では6つの教科書について検討しました。ここには同じ観点で、それぞれ協議・検討した内容を記載しています。

はじめに、項目について説明させていただきます。6者のうち、それぞれ5項目をピックアップしました。

点の部分からお話ししたいのですが、最初の点は教科書における小学校第5学年・第6学年で年間70時間のうちの言語活動の数を表示しています。第5学年・第6学年でどれくらいの数の言語活動数を取り上げられているか、さらに小学校の外国語活動では大事にするところは「聞く活動」「話す活動」というのが大きなポイントになりますので、その話すこと、聞くことの割合、ただ単純に数ではなくパーセントでどれくらいのものを占めているのかということで、この数字を一番目に出しております。

二番目の点ですが、こちらは小学校3・4年生の外国語活動及び中学校外国語との関連について、各教科書でどれくらい触れられているか、その箇所数を示しています。

三点目は、北海道との関わりのある内容をとりあげている資料の数を載せています。

四点目は、外国語における主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応ということで、各教科書どのようなことを考えているのか、どのような視点を入れているのかということに記載しています。

最後は、児童の学習意欲を高める工夫など、各教科書どのような工夫がされているか記載しています。

このような5点の観点について、それぞれの教科書会社について説明したいと思います。

はじめに東京書籍では、70時間の時数に対して言語活動数が第5学年で190、第6学年では226となっています。うち、「聞くこと」については第5学年が28.4%、第6学年は32.3%、「話すこと」について、これは2領域合わせたものになります。2領域とといいますのは、自己紹介やプレゼンをするなど、単純に話をするということ、コミュニケーション活動などのやり取りをすることを合わせた2領域ということで、第5学年が39.5%、第6学年で27.5%となっています。

次に、外国語活動及び中学校外国語との関連については、第5学年では18箇所、第6学年では27箇所となっています。

北海道との関わりの部分では、第5学年が6箇所、第6学年はここでは触れられておりません。

主体的・対話的で深い学びの実現という部分ですが、ここでは次のような学習活動が取り上げられていました。おすすめの施設を訪ねることや、自分が作ったオリジナルタウンを使って好きな施設を紹介することなどを組み合わせる活動を第5学年で、飼育員さんが作ったポスターを読むことや、生き物のために身近でできることを発表することなどを組み合わせる活動を第6学年で、取り上げられています。

児童の学習意欲を高める工夫ということで、学習内容やテーマをもとに、視野を広げるなど、巻末に資料等がありまして、そのようなものを使いながら、子どもたちの意欲を高める工夫がなされています。

開隆堂は、言語活動数が70時間に対する第5学年156、第6学年156で同数になっています。うち「聞くこと」は第5学年で34.0%、第6学年では33.3%、「話すこと 2領域」では、第5学年35.9%、第6学年でも同数となっています。

外国語活動及び中学校外国語との関連については、第5学年は2箇所、第6学年は10箇所となっています。

北海道との関わりのある内容ということですが、第5学年は4箇所、第6学年は3箇所となっています。

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習ということですが、ここでは、お気に入りの場所をたずねることや、自分が作ったマイタウンのお気に入りの場所を紹介することなどを組み合わせる活動を第5学年で、日常生活での行動について聞くことや、理想の日曜日のスケジュールについて伝え合うことなどを組み合わせる活動を第6学年で取り上げています。

学習意欲を高める工夫ということで、これまで学習した表現や語句を用いた短い読み物を掲載するなど、子どもたちが読む活動に親しむということも工夫されています。

三省堂では、70時間の授業に対して、第5学年での言語活動が171、第6学年は167となっています。うち、「聞くこと」は第5学年で24.0%、第6学年で24.6%、「話すこと 2領域」では第5学年42.1%、第6学年42.5%となっています。

外国語活動及び中学校外国語との関連については、第5学年41箇所、第6学年32箇所となっています。

北海道との関わりですが、この部分では第5学年3箇所、第6学年2箇所となっています。

主体的・対話的で深い学びの実現という部分で、第5学年では行きたい国をたずねることや、パノラマを見ながら、行きたい場所とそこでしたいことを伝え合うことなどを組み合わせる活動を取り入れています。第6学年では、中学校で力を入れたい教科や入りたい部活動について聞くことや、どんな中学校生活を送りたいか伝え合うことなどを組み合わせる活動を取り上げています。

学習意欲を高める工夫ということで、音声で十分に慣れ親しんだ語句を扱いながら、読むことや書くことの活動を積み重ねること、つまりここでは読むこと、書くことにつなげることを子どもたちの意欲付けに使っているということになります。

教育出版以下3者につきましては、田村から報告をさせていただきます。

(田村第10小委員会副委員長)

それでは、教育出版について報告いたします。

言語活動数の合計は第5学年69、第6学年71となっており、うち「聞くこと」についての活動は、第5学年40.6%、第6学年25.4%、「話すこと 2領域」については、第5学年40.5%、第6学年29.6%となっています。

外国語活動及び中学校外国語との関連については、第5学年6箇所、第6学年13箇所となっています。

北海道と関わりにつきましては、第5学年21箇所、第6学年5箇所となっています。

主体的・対話的で深い学びの実現への対応については、欲しいものを尋ねることや、自分で作ったオリジナルメニューを使ってレストランのロールプレイをすることなどを組み合わせる活動が第5学年で、行きたい国や地域とそこでできることをたずね合うことや、夢の世界旅行を発表することなどを組み合わせる活動を第6学年となっています。

意欲を高める工夫では、話す内容やコミュニケーションについて気付きや思考を促すという工夫がされています。

光村図書では、言語活動数の合計数は、第5学年142、第6学年149、うち「聞くこと」は第5学年46.5%、第6学年42.3%、「話すこと 2領域」第5学年19.0%、第6学年18.8%となっています。

外国語活動及び中学校外国語との関連については、第5学年2箇所、第6学年15箇所となっています。

北海道との関わりにつきましては、第5学年3箇所、第6学年4箇所となっています。

主体的・対話的で深い学びの実現への対応については、店や施設について聞く活動を通して表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って道案内についてやり取りする活動に取り組み、理想の町について発表する活動を第5学年で、日本の行事について聞く活動を通して表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って好きな季節と行事を伝え合う活動に取り組み、日本の行事やその時にできることを発表する活動などを第6学年で取り入れています。

学習意欲を高める工夫では、各国の小学生のメッセージを視聴し多様な文化や価値観にふれる場面を設定しています。

啓林館では、言語活動数の合計は、第5学年186、第6学年202、うち「聞くこと」第5学年53.8%、第6学年49.5%、「話すこと 2領域」第5学年26.9%、第6学年24.8%となっています。

外国語活動及び中学校外国語との関連については、第5学年が52箇所、第6学年が72箇所となっています。

北海道との関わりにつきましては、第5学年で1箇所、第6学年で6箇所となっています。

主体的・対話的で深い学びの実現への対応については、行ってみたい国を尋ねることや、一緒に行きたい国の魅力を伝えて友だちを誘うことなどを組み合わせる活動を第5学年で、中学校でやってみたいことを尋ねることや、中学校を紹介してくれた人にお礼の手紙を書くことなどを組み合わせる活動を第6学年で設定しています。

学習意欲を高める工夫については、世界の人々とのコミュニケーションに欠かせない異文化理解を促すなど、児童の学習意欲を高める工夫がみられます。

(菅野会長)

報告をいただきましたが、ここでご質問をお受けしたいと思います。何かございませんか。
高橋委員。

(高橋委員)

「聞くこと」「話すこと」についてはいろいろ説明を受けたところですが、「読むこと」「書くこと」の指導について、どのような工夫がされているのかお伺いいたします。

(稲葉第10小委員会委員長)

東京書籍ですが、読み書きの指導のページを各単元末に設定しています。2年間を通じて文字の名前から音、文へと無理なく学習できるようにしています。さらに、慣れ親しんだ文字と音や、それまで学習した表現の知識を使いながら、英語の文を読む活動も取り入れています。

開隆堂は、音声で十分に慣れ親しんだ英語を文字と結びつける活動や、文字学習のための帯活動を設定しています。各単元末には、該当単元で学習した言語材料を用いた絵本的な読み物を読む活動を設定しています。

三省堂は、スモールステップを踏んで、音と文字との関係に気づかせながら進め、絵をたよりに単語を読んだり文を作ったりする活動を設定しています。また、My Dictionary（絵辞典）が巻末にあり利用できるようになっています。

教育出版は、豊富なインプットから始め、口慣らしを通して表現に慣れ親しませ、段階的に文字を読んだり書いたりし、系統性のある指導ができるように排列しています。

光村図書は、児童の学ぶ意欲を大切にしつつ、つまづかないように段階を追って丁寧に慣れ親しめるようにしています。また、系統的な文字の学習ができるように活動を設定しています。

啓林館は、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現について、音声に合わせて文字を指で追ったりする活動を行い、徐々に英語を読む力の素地を養ったり、書くときのルールを学べたりするようにしています。

(菅野会長)

他にございませんか。

菅原委員。

(菅原委員)

各学習活動と評価との関連については、どのように扱われているか、お聞きしたいと思います。

(田村第10小委員会副委員長)

東京書籍ですが、単元目標と学習指導要領に関連した評価の3観点を単元冒頭に明示し、それに対応するふり返しスペースを設けています。教員による評価だけでなく、児童の「自己調整力」の育成にも役立つと思われます。

開隆堂ですが、単元ごとに評価規準を作成し、記録に残す評価を行う領域と観点を教科書紙面に明示しています。年3回のLet's Checkでペーパーテスト、パフォーマンステストを実施し、総合的な評価ができます。

三省堂は、目標=Goal、英語でできること=CAN-DOを明示し、それに対応した「ふりかえり」を設け、評価の際に活用できるようにしています。

教育出版は、各Lessonの冒頭で単元の目標を確認させることにより、当該Lessonの学習が終わった時点でできるようになっていた姿をあらかじめイメージし、それを意識しつつ授業に臨み、最後に自己評価ができるように工夫しています。

光村図書は、各Unitの導入の「Hop!」には、「学習の目標」を示し、「Jump!」には「ふりかえろう」を設定。各Unitで「何ができるようになるのか」「どのように学んでいくのか」を明確に意識して学習できるようになっています。

啓林館は、達成度を確認しながら学習が進められるように、各Stepに自己評価用のバロメーターが表示されています。評価規準につながるように巻末にCan-Do Listも掲載しています。

(菅野会長)

他にございませんか。

水野委員。

(水野委員)

カリキュラムマネジメントの観点から、1 単位時間の扱いについて、どのような工夫がなされているか教えてください。

(稲葉第10小委員会委員長)

東京書籍では、紙面は1 ページ45分が目安となっており、脚注に配置した活動は短時間の帯学習にも活用できる形となっています。単元の終盤のOver the Horizonは各学級の実態に応じて扱い方を工夫できるので、柔軟なカリキュラム編成ができるようになっています。

開隆堂は、すべて1 単位時間45分を目安とした教科書の構成となっています。

三省堂は、各Partは45分の授業を基本として作られています。各Lessonのチャンツや Small Talk、ABC Fun Box、Story Timeなどは、それぞれが短時間の授業に振り替えやすいように、また1 時間+短時間授業という形を作れるようになっています。

教育出版は、Lesson全体において、教科横断的な要素を多く取り扱っています。各レッスンにおいて通常の45分授業と、その内容的な関連性をもたせながら、10から15分程度で終わられる活動を設け、短時間学習にも配慮しています。

光村図書は、1 単位時間45分を基本とした教科書の作りとなっています。

啓林館は、授業時間内に余裕を持って取り組める分量にし、指導者の裁量でゲームなど教科書以外の活動も取り入れられるようにしています。45分を基本に作っています。

(菅野会長)

他にございませんか。

渡會委員。

(渡會委員)

先ほどの報告で小学校中学年の外国語活動や、中学校外国語との関連についてそれぞれ数では扱われていたのですが、6 者それぞれの特徴的な取り扱われ方があれば教えていただいでよろしいですか。

(田村第10小委員会副委員長)

東京書籍では、中学年外国語活動で慣れ親しんできた言語材料が第5 学年の冒頭の活動につながるように設定されています。また、高学年の読み書き指導が中学校の学習内容にスムーズに接続するように設定されています。

開隆堂では、言語材料は、中学年外国語活動で学習した語句や表現等に加えて、中学校の学習内容に照らし合わせて精選しています。既習の語句や表現を単元や学年を超えて使う活動を充実させています。

三省堂では、中学年外国語活動での言語活動を通して学習したことを確認するなど、中学年からの接続が円滑に図られています。また、中学校生活を展望する Lesson を配置し、中学校への接続をスムーズにしています。

教育出版では、中学年外国語活動の中でふれてきた語句・アルファベットを第5 学年の冒頭で取り上げて、高学年の学習の導入として扱っています。最後の単元では、これまで学んだことを使って、自分のことについて書く活動を配置し、児童が中学校での自己紹介の授業に活用できるようにしています。

光村図書では、各学年の絵辞典には、中学年外国語活動で触れた語彙に目印をつけ、児童が大きな負担を感じずに高学年の学習につなげられるように工夫されています。また、学年の最後に自身の成長を実感できる活動を設定し、次の学年や中学校の活動に生かせるようにしています。

啓林館では、既習事項を使ってやり取りができる挿絵や写真を掲載するなど中学年との連携を図られています。中学校外国語との関連では、慣れ親しんだ表現を音声とともに声に出

して読んだり、音声に合わせて文字を指で追ったりする活動を行い、徐々に英語を読む力の素地を養うという形で中学校との連携を図っています。

(菅野会長)

他にございませんか。
福地委員。

(福地委員)

北海道に関する内容については、どのように取り上げられているか、お伺いをいたします。

(稲葉第10小委員会委員長)

北海道に関する内容ということで、ご質問がありましたが、先ほど私たちが提示したものはあくまでも数的な部分でした。今度は内容についてご説明させていただきます。

東京書籍では、第5学年の聞き取りで「アイヌの文化」「豊似湖」「五稜郭」について取り上げられています。

開隆堂は、第6学年の聞き取りで「さっぽろ雪まつり」の写真を取り上げ、それをもとに聞き取る活動を行っています。

三省堂では、第6学年の住んでいる地域の好きな行事を友だちと伝え合う活動で「YOSAKOIソーラン祭り」と「さっぽろ雪まつり」を取り上げています。

教育出版は、第5学年の聞き取る活動で、石狩鍋やラベンダー畑、ラベンダーソフトクリームについて紹介されています。また、第6学年では、自分の町の良さを伝えるために北海道の写真を使って活動することになっています。

光村図書では、第6学年の聞き取りで、「さっぽろ雪まつり」の写真が2箇所で取り上げられています。

啓林館では、第6学年の聞き取りで、「さっぽろ雪まつり」と「ラーメン」のイラストが取り上げられています。

(菅野会長)

他にございませんか。

ないようですので、以上をもちまして第10小委員会の「英語」につきまして報告を終了させていただきます。稲葉委員長、田村副委員長、大変ありがとうございました。

それでは、次に第11小委員会の「道徳」につきまして、報告をいただきたいと思えます。

(森第11小委員会委員長)

第11小委員会特別の教科、道徳委員長の幕別小学校 森浩嘉でございます。よろしくお願いいたします。

(日根野第11小委員会副委員会)

副委員長は、音更町立緑陽台小学校教頭の日根野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

(森第11小委員会委員長)

それでは、令和6年度から使用されます小学校用教科用図書について、教科書見本本の調査研究結果について報告をさせていただきます。

お手元の報告書の「1. 調査研究の経過」につきましては、記載の通りでございます。「2. 調査研究の方法」につきましては、教科書見本本について調査研究の観点に基づき、「教科書編修趣意書」及び道教委が作成いたしました採択参考資料を参考として行っております。アの取扱内容につきましては、学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等に基づいて、正確、適切に取り上げられているか、イの内容の構成・排列・分量等については、二点目の児

童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫がされているか、ウの使用上の配慮等については、二点目、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされているかなどにつきまして調査研究の観点として委員6名で調査研究を進めてまいりました。その調査研究の結果といたしまして、見本本の総合所見については、お手元の報告書2ページ以降に記載をしています。

まず(1)東京書籍の「新しい道徳」についてです。一点目、生命の尊厳については、重い病気を患っている子どもをもつ親の生き方を基に、生命を大切にすることについて考える活動を第3学年で取り上げています。二点目の言語活動については、自分の考えを可視化し、多様な感じ方や考え方があることに気付くことができる「考えるためのツール」が配置されています。三点目、道徳性をイメージしながら学習に取り組めるように、「心のちから」や成長を実感できる「学習の記録」を配置されています。

続いて(2)教育出版の「小学校道徳 はばたこう明日へ」についてです。一点目、生命の尊厳については、重い病気を患っている子どもの生き方などを基に、生命を大切にすることについて考える活動を第3学年で取り上げています。二点目、言語活動については、話し合ったり、考えをまとめたりするための「学習のてびき」に「考えよう」「深めよう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する工夫がされています。三点目、児童の学習意欲を高める工夫については、学びへの意識を高めながら、見通しをもって学習に取り組める「学びのガイダンス」や各教材末に学習を振り返る「学びチェック」欄を配置されています。

次に(3)光村図書「道徳 きみがいちばんひかるとき」についてです。一点目、生命の尊厳については、モンシロチョウが森の池に落ちたことなどを基に、生命を大切にすることについて考える活動を第3学年で取り上げています。二点目の言語活動については、考えを引き出し深めていくさまざまな手立て「道徳で使う言葉」や「考えよう・話し合おう」を配置されています。三点目、児童の学習意欲を高める工夫については、1年間の学習を見通すことができるよう「道徳みちあんない」や、巻末に1時間ごとの振り返りを記録する折込「学びの記録」が配置されています。

続いて(4)日本文教出版の「小学校道徳 生きる力 道徳ノート」についてです。一点目、生命の尊厳については、子どもの命を大切に思う親の気持ちなどを基に、生命を大切にすることについて考える活動を第3学年で取り上げています。二点目、言語活動については、協働的な学びを進めるための「話す」「聞く」「書く」などの学習方法を紹介する「道徳の学び方」が配置されています。三点目、児童の学習意欲を高める工夫については、主体的な学習態度の育成につなげる「オリエンテーション」や、道徳の時間での学びを深める「学期ごとの振り返りページ」を配置されています。

続いて(5)光文書院の「小学道徳 ゆたかな心」についてです。一点目、生命の尊厳については、自身の先祖について考えることなどを基に、生命を大切にすることについて考える活動を第3学年で取り上げています。二点目、書いてまとめることによって理解を深めたり、整理したりするための道徳のノートの例として「まとめよう・ふりかえろう」が配置されています。三点目、児童の学習意欲を高める工夫については、次の学年に向けてのエールとなるような贈る言葉「ことばのたからもの」や、巻末に児童が自らの学習状況を確認する手立てとしての「学びの足あと」が配置されています。

最後に(6)学研の「新版 みんなの道徳」についてです。一点目、生命の尊厳については、闘病中の児童とその家族の思いなどを基に、生命を大切にすることについて考える活動を第3学年で取り上げています。二点目、言語活動については、児童が自由に意見や感想を記録できる記入欄や、考えを深めるきっかけとなる問いとして「考えよう」が配置されています。三点目、児童の学習意欲を高める工夫については、自分自身とのつながりを探る「つながるわたし ひろがるわたし」や、巻末に1年間の学びや自らの成長を振り返る「つなげよう ひろげよう」が配置されています。

以上で、調査委員会第11小委員会、特別の教科 道徳の教科書見本本の調査研究結果の報告を終わります。

(菅野会長)

報告をいただきましたが、ここでご質問をお受けしたいと思います。
渡會委員。

(渡會委員)

子どもたちの興味・関心を高める、そういった意味合いで、地域素材を取り扱うことが大切だと考えていますが、6者それぞれ北海道を素材としている教材はどのくらいあり、また、どのような内容を扱っているのか特徴的なことを教えていただけますか。

(森第11小委員会委員長)

各者の北海道を素材としております教材の数につきましては、様式1の一番下に「その他」という欄がありますが、そちらのほうに学年ごとに記載をしています。

東京書籍については2教材、教育出版については6教材、光村図書については5教材、日本文教出版については6教材、光文書院については6教材、学研が4教材となっています。

その特徴的な内容につきましては、日根野副委員長より報告をさせていただきます。

(日根野第11小委員会副委員会)

それでは、私のほうから説明させていただきたいと思います。

特に深い学び、考えを広げられる素材ではないかというところで、まず東京書籍の2点を紹介させていただきたいと思います。一つは、ペンギンが水の中を飛ぶ鳥だという資料ですが、旭山動物園のことについて、行動展示をどのようにお客様に見ていただくかという取り組みが書かれた素材になっています。二点目は、天からおくられたおくりものというところで、雪の結晶を研究する、それが天候にどのようにつながるのかというところを書いた素材になっています。また、東京書籍では、QRコードからそれらに関する動画を見ることができますので、実際にどういうものなのかということを実感して捉えることができる教材となっています。

二つ目は、教育出版です。教育出版は6点挙げさせていただいていますが、特に5学年のよさこいソーラン祭りというところが、本場のよさこい祭りと、札幌のよさこいソーラン祭りを比較した内容になっていて、とても子どもたちの興味を引く素材で考え、議論できるのではないかと考えました。もう一つは6学年の平和を求める新渡戸稲造の物語ですが、道徳の基本の武士道について捉えている教材として紹介させていただきます。

(渡會委員)

他者はないのですか。

(日根野第11小委員会副委員会)

他者もございしますが、特徴的なものということで2者を紹介させていただきました。

(菅野会長)

他にございませんか。
細川委員。

(細川委員)

道徳科においては、児童が道徳的価値を自覚できるよう指導方法の工夫が求められておりますが、どのような配慮が見られるかお伺いします。

(森第11小委員会委員長)

道徳において、道徳的価値を児童に自覚を促す、これは授業にとって最も必要な内容であります。その点につきまして、各者とも、教材文の後に道徳的価値に最も迫れることができ

る「中心発問」を掲載しています。これについては、各者共通してみられる内容となっています。

特徴的なものとしましては、教育出版では、教材文の後に体験的な学習に活用できる「やってみよう」、発展的な学習に活用できる「つなげよう」、問題解決的な学習に活用できる「問題を解決しよう」のそれぞれのコーナーが設定されていまして、道徳的価値を自覚できるように多様な指導方法ができるような作りになっていると思います。また日本文教出版では、各学年の教科書に別冊の「道徳ノート」がついていまして、友達の意見や自分で思い描いたツールを使いながら絵や図で表現したりするような、そういったコーナーができておりますので、振り返りで活用したり、1時間ごとの学びや学期ごとの学びを自覚できるところから道徳的価値の自覚を促す「道徳ノート」が付随になっています。

(菅野会長)

他にございませんか。
中川委員。

(中川委員)

主体的・対話的で深い学びを推進するため、どのような工夫や配慮が見られるのかお聞かせいただきたいと思います。

(森第11小委員会委員長)

現行の学習指導要領におきましては、主体的・対話的で深い学びが今の教室で求められている授業・学習の姿になっています。そういった意味で、道徳科においても「考え、議論する道徳」というふうに言われています。その面で各者とも、言語活動や図式化を通しまして深い学びができるように具体的な学習活動のヒントが掲載されています。

特徴的なものとしましては、東京書籍の中で、中学年・高学年で児童の問題意識を喚起し、主体的な学びにいきなう「学習への投げかけ」が掲載されていたり、全学年においては「どんな学び方をするのかな？」というコラムで、対話的な学び方を実現するための学び方を具体的に教科書に掲載しています。

また、光文書院の教科書の中では、児童が自ら「問い」をもって授業に臨むことの重要性を踏まえ、経験や生活の中から「問い」をもてるような導入の工夫がされている教科書の作りとなっているのが特徴的などころだと調査研究をいたしました。

(菅野会長)

他にございませんか。
東海林委員。

(東海林委員)

子どもの道徳性を育むため、教師が明確な指導の意図を持ち、内容等も踏まえ適切にねらいを設定しながら、問題解決的な学習や体験的な活動など、多様な指導方法を工夫することが求められています。今回の教科書で、どのような取扱いがなされているか、お伺いいたします。

(森第11小委員会委員長)

「特別の教科 道徳」となって教科書ができてから、教員は教科書を使って教えるといったことが教室の中で多く見られるようになりました。ただ、「教科書で教える」のか「教科書を教える」のか、これは大きな違いがあります。「教科書を教える」ことになると、道徳において押し付け的な道徳の指導になりがちになってしまいます。そこで我々現場では、「教科書で」道徳的価値に気付かせていく、そういった授業を進める必要があります。そのうえで、

ご質問いただいたように問題解決的な学習、体験的な活動、そういった多様な指導方法が求められていると思っています。そういった意味では、各者とも役割演技や動作化など道徳的行為に関する体験的な学習や、問題解決的な学習を取り入れた教材が多く掲載されています。

いわゆるモラルジレンマというような「自分だったらどうしよう」と悩むような教材が多く排列されているように思います。

特徴的なものとしましては、教育出版においては、日常生活を送る上での立ち振る舞いについて体験的に学習をするためのモラルスキルトレーニング教材が各学年に2教材ずつ掲載されていて、児童の発達段階に合わせた体験的な学習が設定されています。

また、光村図書におきましては、中・高学年の教材で、教材の特性や発達段階に応じた思考ツールが多様に提案されていまして、それらの思考ツールを通して道徳的価値の自覚を促してみたり、役割演技の手順、話し合いに役立つ言い方を示したりする、そういったコラムのページ等も設けられています。各者にそういった特徴がみられました。

(菅野会長)

他にございませんか。

小堀委員。

(小堀委員)

道徳の質的転換によるいじめの防止が今、求められておりますけれども、どのような取扱いがなされているかお伺いしたいと思います。

(森第11小委員会委員長)

いじめの未然防止につきましてはもちろん道徳だけではなくて、全ての教育活動において未然防止につながるような指導、子どもたちへの意識付け、それが必要だと思っておりますが、「特別の教科 道徳」を中核としてさまざまな角度から子どもたちにいじめの防止について考える、そういったことはこの道徳の教科において大変重要な一つでもあります。そのため、各者とも共通していじめ問題については全ての学年において重点テーマとして設定をされています。主教材とコラムを合わせた「ユニット」という形を設定しているものが各者で目立っております。

特徴的なものとしましては、東京書籍や日本文教出版では、いじめ防止ユニットとしていじめの場面を直接的に扱う教材と、関係する価値から間接的に考えさせる教材、さらにコラムを組み合わせて、いじめについて多面的・多角的に考えられるような教材の構成になっています。また、教育出版におきましては、傍観者の立場から考えたり、SNSを介したいじめに着目したり、いろいろな立場や場面をスパイラル的に学習できるような排列になっておりまして、児童がいじめの防止について考えを深められるような作りになっていると思っております。

(菅野会長)

他にございませんか。

ないようですので、以上をもちまして第11小委員会道徳につきまして、報告を終了させていただきます。森委員長、日根野副委員長、大変ありがとうございました。

それでは、次に第12小委員会の附則第9条について、報告をいただきたいと思っております。

(佐藤第12小委員会委員長)

それでは附則第9条小委員会委員長を務めました、士幌町立上居辺小学校の佐藤でございます。どうぞよろしくお願いたします。

(高橋第12小委員会副委員長)

芽室小学校の高橋です。

(佐藤第12小委員会委員長)

それではまず初めに「1. 審議経過」でございます。第1回の調査委員会では、配布された教科用図書につきまして、調査研究の観点や手順を協議し、各者の教科用図書を調査研究し、次回の検討資料とすることにいたしました。また第2回調査委員会では、調査研究資料についての協議や、配布された9冊の教科用図書における作成の趣旨に基づいた協議を行いました。報告書を作成いたしました。第3回調査委員会では、第2回調査委員会において作成した報告書につきまして精査し、完成させますとともに、第4回協議会での調査報告内容につきまして協議をさせていただきました。

続きまして「2. 調査研究の方法」ですが、9冊の教科用図書の見本本につきまして、北海道教育委員会が作成する採択参考資料を参考として次の3つの観点で調査研究を行いました。1つ目は、ア「取扱内容」についてです。各教科や領域等の目標、内容に基づいているか、他の教科や領域等との関連は適切か。2つ目は、イの「内容の構成」についてです。地域の実態や子どもの生活経験、興味・関心などに配慮されているか。3つ目は、ウの「使用上の配慮等」についてです。学習意欲を高める工夫、主体的に学習に取り組めるよう工夫などについて。これらの観点で調査研究を進めました。

最後に「3. 調査研究の視点」です。今回、調査研究を行いました9冊の図書につきましてそれぞれの特徴的な点を報告申し上げます。前半の4冊を高橋から説明させていただきます。

(高橋第12小委員会副委員長)

(1)「ふわふわちゃん おでかけこんにちは」についてです。登場人物や動物がどのように挨拶をするか、動きや表情の変化、動物の鳴き声の模倣などを取り入れながら、子どもが飽きないよう配慮された作品です。背景を簡素にすることで、イラストに注目しやすいよう工夫されています。

(2)「手と手をつないで」です。他者との関わりやつながりによる安心感や幸福感を捉えることができるような、「のばしてごらん。」「つくろうね。」などの表現が数多く登場します。また、カラーージュによる挿絵から季節感にあふれた温かみのある作品になっています。

(3)「みんなのきもちがわかるかな? おもいやりの絵本」についてです。様々な場面や行動について、吹き出しを効果的に活用することで、子どもが相手の気持ちを想像できるよう配慮されています。また、イラストにより、相手の気持ちや場面を視覚的に理解できる工夫がされています。

(4)「音の出るとけいえほん いまなんじ?」です。アナログ時計を操作することにより、時間の単位を理解することができる構成です。様々な生活場面に即したクイズが設定されているほか、ボタンを押すことにより音声で時刻を教えてくれるなど、興味をもって取り組めるよう工夫されています。

(佐藤第12小委員会委員長)

続きまして、後半の5冊について佐藤よりご説明を申し上げます。

(5)「さわって学べる算数図鑑」です。数量や図形につきまして、いろいろな仕掛けを操作することでわかりやすく学んだり、理解できるよう配慮されています。巻末のクイズでは、自分で選択して、指で操作して答えを導き出すことができるように工夫されています。

(6)「うたってたたこう! わくわくりズムあそび どうようえほん」ですが、14曲の童謡につきまして、伴奏に合わせてカスタネットや鈴の音を鳴らすことができます。楽器のボタンが押しやすく、同時に押すことで秘密のサウンドを楽しむことができるような工夫もされています。

(7)「てあそびうた&ゆびあそびゲーム タブレット」です。なじみの深い30曲とボタンを押して遊ぶ6種類のゲームが入っております。手遊びや指遊び、体を使って曲を楽しめるよう配慮されておりまして、手指の巧緻性や遊びのルールを身に付けることができるよう工夫されています。

(8)「おとがなるしかけえほん はじめてのオーケストラ」です。「ハンガリー舞曲第5番」を演奏する管楽器や打楽器等の音色を実際に聞き比べることができる作品です。また、二次元コードを読み取ることで動画による演奏を聴くことができ、学習意欲を高める工夫がされています。

(9)「親子で楽しんで、驚くほど身につく！ こどもせいかつ百科」です。食事や排泄、衣服の着脱など、様々な日常生活の行動や生活動作が手順に沿って簡潔なイラストで示されているものです。子どもの実態や興味・関心に応じて題材を選定し指導できるほか、家庭との連携を図りながら学習することができるよう構成されています。

以上で、今回調査いたしました9冊の見本の総合所見の説明を終わらせていただきますとともに、いずれの図書におきましても子どもたちの学習意欲を高めたり、興味・関心を広げたりする工夫がされておりましたことをご報告申し上げます。

(菅野会長)

報告をいただきましたが、ここでご質問をお受けしたいと思います。

何かございませんか。

土屋委員。

(土屋委員)

障がいの重度・重複化、多様化への対応を踏まえ、一人一人の障がいの状態、発達の段階等に応じて、きめ細かな指導の充実を図る工夫が求められていますが、このことについてどのように配慮されているのか、お聞かせ願います。

(佐藤第12小委員会委員長)

お答えをいたします。今回新たに加わりました9冊すべての図書におきましては、使用する児童生徒の障がいの程度・状態等を想定した配慮、また、きめ細かな指導の充実に向けた工夫がされていました。例を申しますと、ある図書におきましては、1ページ当たりの文字情報の数を精選するとともに、場面や表情が分かりやすいようなイラストを組み合わせる工夫がされていました。また、ある図書におきましては、ボタンを押すことで音楽や音が流れ、目と手の協応を図ったり、動作を通して因果関係の理解を深めたりすることができる工夫がされているものもありました。さらに、どの発達の段階にある児童生徒に適するものかの目安として、A・B・Cの三段階の表示をすることによって、どの程度の児童にふさわしいものかを表示することができるようになっていきます。

以上のように、各図書におきまして、さまざまな子どもたちの障がいの状態や発達の段階に応じた配慮がなされておりました。

(菅野会長)

他にございませんか。

渡辺委員。

(渡辺委員)

自ら学び、自ら考え、課題解決に向けて主体的に取り組む力を身に付けさせることが大切だと考えますが、このことについてどのように配慮がされているか、教えていただきたいと思っております。

(佐藤第12小委員会委員長)

お答えをいたします。今回新たに加わりました9冊すべての図書におきまして、児童生徒の学びへの興味・関心や学習意欲を高める工夫がなされていたと考えています。例を申しま

すと、ある図書では、ゲーム感覚で読めるものがありましたし、図書を開くこと自体が楽しくわくわくする工夫がされているものもありました。

また、単なるゲームだけではなく、複数の学習ゲームやクイズが1冊の中に用意されているものや、自分が取り組みたいものを選択して取り組めるよう配慮がされているものもありました。自分で選択して取り組むことは、子どもの主体性や自ら学ぶという姿勢につながる要素であると考えます。

さらに、一人で読むことだけではなく、支援者の先生や保護者の方、友達同士で読み合ったり、学び合う配慮がされているものもありました。例えば、次のページでは何が起こるかを想像させたり、あいさつを一緒にやってみることを促したりするものもありました。

以上のように、各図書において、児童生徒が自ら学ぶとともに、他者との関わりも含めて、主体的に学びに向かうことができるよう配慮されておりました。

(菅野会長)

他にございませんか。

沼田委員。

(沼田委員)

基本的なことですが、障がいのある児童が発展的・段階的に学習できるように工夫することが必要で不可欠であると考えますが、このことについてどのように配慮されているのか、お伺いしたいと思います。

(高橋第12小委員会副委員長)

お答えをいたします。今回新たに加わった9冊すべての図書におきまして、「次はどうなるのかな」「次のページを開いてみよう。楽しみだな」と感じさせる工夫がされていました。ある図書では、同じ場面の繰り返しが基本的な構成となっていました。その中でも変化に富んだものがあり、子どもたちは意欲を継続しながら図書を読み進めることができるものでした。持続的に図書に親しむことは、学びの継続や発展に寄与する要素であると考えます。

また、日常生活の想定されるあらゆる場面を取り扱った図書もありました。「こんな時はどうするのだろう」と視野を広げての思考を促すための工夫がされているものもありました。

以上のように、各図書において、発展的に学んだり、学びの幅を広げたりすることができるよう配慮されていました。

(菅野会長)

他にございませんか。

ないようですので、以上をもちまして、第12小委員会附則第9条につきまして報告を終了させていただきます。佐藤委員長、高橋副委員長、大変ありがとうございました。

以上で、調査委員会からの結果報告及び質疑は、全て終了といたします。

「報告第3号 令和6年度から使用する小学校用教科用図書及び学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の調査研究結果の報告について」は、調査委員会の委員長の報告のとおりといたします。

(菅野会長)

次に、その他といたしまして、「(1)教科書展示会における意見について」を、事務局から説明いたします。

(事務局：西田学校教育課長)

教科書展示会における意見につきまして、ご説明いたします。

会議資料1の「令和5年度 第12地区教科書採択地区の教科書展示会での意見件数及び一覧」をご覧ください。

表紙は、各町村で実施された教科書展示会での意見数を記載しておりますが、合計で67件のご意見をいただいております。

次ページ以降は、各町村での意見を記載しております。さまざまな意見がございましたが、ここでは内容の説明は省略いたしますのでご了承いただきたいと思います。後ほどご覧いただきたいと存じます。

以上で説明を終わります。

(菅野会長)

この件については、よろしいですか。

(委員一同)

はい。

(菅野会長)

委員の皆さんから、他に何かございませんか。

(委員一同)

なし。

(菅野会長)

十勝教育局から、他に何かございませんか。

(十勝教育局)

なし。

(菅野会長)

それでは次回、第5回協議会につきましては札内コミュニティプラザ集会室で午前10時から開催いたします。

資料等を、忘れずにご持参いただくようお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、令和5年度第4回第12地区教科書採択教育委員会協議会を終了いたします。お疲れ様でした。